

みんなの
ための
学校長会に

茨城県 学校長会広報

第244号

発行者
茨城県学校長会
会長 鬼澤 真寿
事務局
〒311-1125
水戸市大場町933-1
教育プラザいばらき内
☎ 029-269-1300
FAX 029-269-1304

第3期 中期教育ビジョン

特集

各部・各委員会の構想 新会員紹介



自分で考え、判断し、行動できる児童の育成
自主性、積極性、自律性を伸ばす

太田小学校は、失敗を恐れずに挑戦し、失敗を糧にしなが、繰り返し挑戦し続ける子を育てています



目次

- 表紙写真に寄せて……………1
- 茨城県学校長会基本方針及び
第3期中期教育ビジョン……………2
- 会長挨拶……………4
- 令和元年度
今年度の活動の方向性……………4
- 特集
「各部・各委員会の構想」……………5
- 特別寄稿「社会が変われば
学びも変わる」……………6
- 課題「学校における働き方改革
と魅力ある学校づくり」……………8
- 市町村教育委員会と学校長会……………9
- 提言二題……………10
- 経営研究「創意と活力に
満ちた学校経営」……………11
- 大会に参加して
「全連小・関プロ小・全日中」……………15
- 特集「新会員の抱負」……………16
- 再任会員名簿……………30

「夢育」
自分の力で
たくましく生きる

常陸太田・太田小
西連寺 有

常陸太田市では、児童生徒一人一人の夢を育み、明日が待たれる魅力ある学校づくりとして夢実現への支援「夢育」を推進しています。

太田小学校では、この「夢育」を夢に向かって自分の力で努力できる力を身に付けることと捉え、「自分で考え、判断し、行動できる児童の育成」を目標に、「自主性」「積極性」「自律性」を伸ばすことに重点を置いて教育活動を展開しています。そして一人一人の内面的なよさを認め、ほめて自信を高めています。

茨城県学校長会基本方針及び第3期中期教育ビジョン（3か年活動目標）

1 基本方針

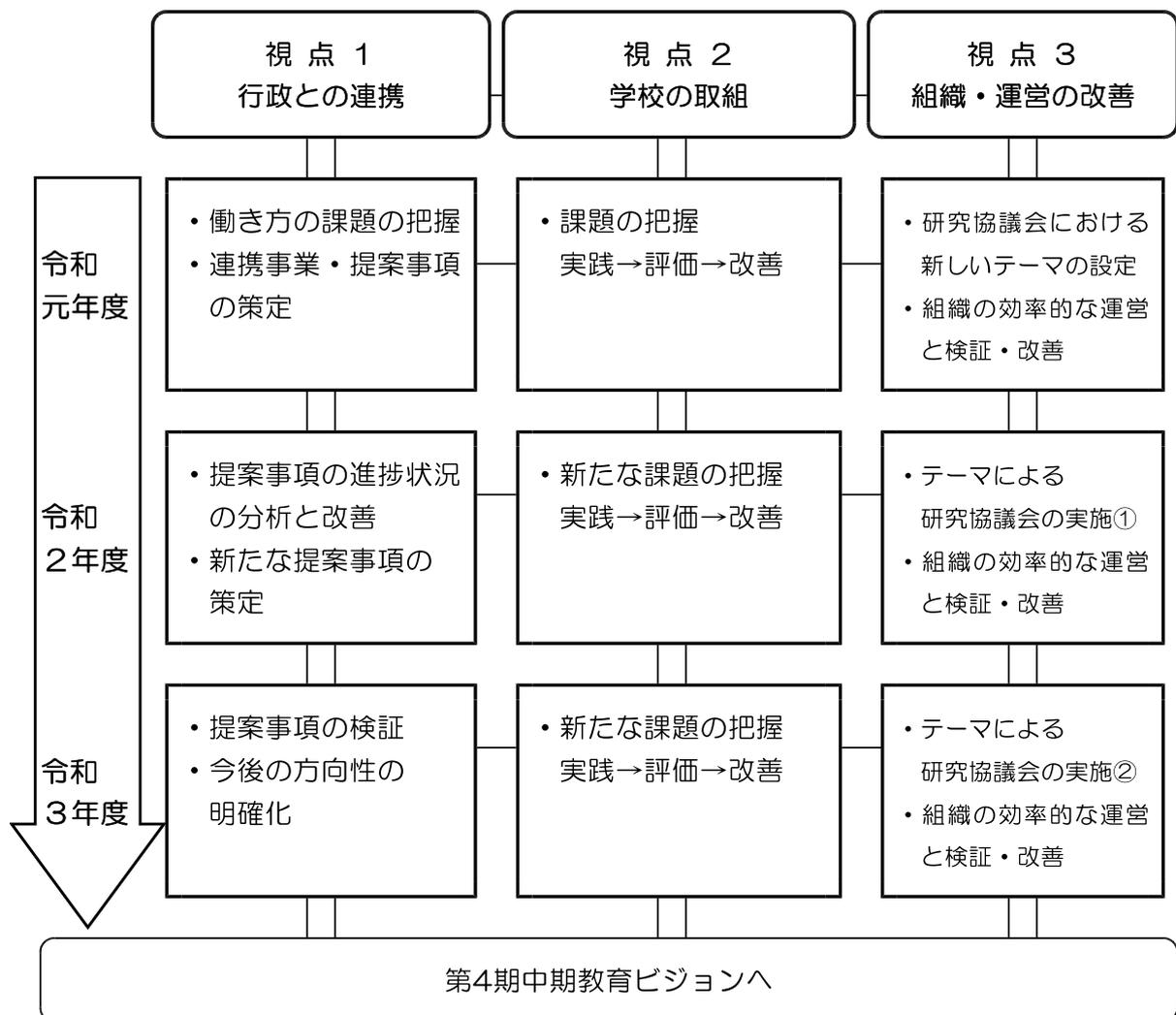
※ これまで取り組んできた精神と業績を継承し、茨城県学校長会の方向性を示したものです。

- 1 学校からの教育改革を目指す学校経営の推進
- 2 学校経営の質を高める研究の推進
- 3 茨城県学校長会の組織運営の活性化
- 4 教育諸条件の整備
- 5 関係機関・団体との連携強化

2 第3期中期教育ビジョン

※ 基本方針を受けた「3か年活動目標」であり、茨城県学校長会の各組織（専門委員会や支部学校長会）間で連携した活動を通して、校長一人一人の参画型の取組を推進し、結果として「われら意識」を高めていけるよう工夫するためのビジョンです。

○ 「働き方改革」を実現し、新しい時代の教育を推進する



3 施策

※ 基本方針，中期教育ビジョンを受けて3つの視点により，3年間で取り組む具体的内容です。

（★：本年度の重点，○：第2期より継続，●：第3期より新規）

視点1（行政との連携）

- 少人数指導教育（少人数学級）の調査研究（注1）
- 教職員定数，学級編制等の改善についての調査研究
- ★○ 勤務時間等に関する調査と適正化に向けた茨城県教育委員会等との共同研究の継続
- 茨城県教育行政機関，教育関連機関との連携や情報交換
- 教育諸条件の整備と充実のための人事配置や施設設備等に関する連携・提案の策定
- ★● 各種研修会や募集事業の精選等，業務改善に向けた調整・連携の策定

視点2（学校の取組）

- ★○ 教職員の資質能力の向上と人材育成
- 学校の危機管理体制の強化
- 新しい教育制度や新学習指導要領を踏まえた学校経営の推進
- ★● 勤務時間に関する意識改革
- 組織運営体制の改善
- 学校行事等の精選及び運営の効率化
- 関係機関・団体による支援体制の確立

視点3（組織・運営の改善）

- ブロック協議会及び小・中学校部会の活性化による情報共有と行動連携（「われら意識」の高揚）
- ★● 働き方改革実現に向けた研究協議会の改善・充実
- 委員会の統合，会議回数の削減等，組織及び運営の見直しの推進と検証・改善

4 その他

- 全国連合小学校長会，全日本中学校長会，茨城県教育研究会及び茨城県小中学校教頭会等との連携強化
- 子ども支援茨城連絡会との連携活動の強化（注2）
- 教育振興大会の開催と教育の充実に関する世論の喚起

（注1）「少人数指導教育」とは，一学級35人以下の「少人数学級」及び特定の教科における「少人数指導」の両面での取組を目指すものです。茨城県学校長会においては少人数学級について調査研究を推進するものです。

（注2）「子ども支援茨城連絡会」とは，教育関係23団体で構成される全国組織「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」の下部組織であり，現在のところ，本県では茨P連，茨城県学校長会，茨教組の三者で構成されている子供を支援する連絡会です。

人間性や創造性を高める
働き方改革の推進

茨城県学校長会
会長 鬼澤 真寿



茨城県学校長会は、第2期中教育ビジョンにおいて、「少人数指導教育（少人数学級）の充実」を活動目標の重点として掲げ、県の少人数指導教育の対象を中学校三年生まで拡大できたことで、一定の成果を上げることができました。

今年度から三年間をかけて、第3期中期教育ビジョンに取り組んでまいります。重点目標は、「働き方改革の推進」です。

現代の学校教育は、社会の急激な変化やグローバル化、情報化への対応、新学習指導要領の完全実施など、先送りできない課題に同時進行で取り組んでいかなければなりません。

それらを円滑に遂行するためにも、働き方改革は必須です。子供たちと向き合う時間の確保はもちろんです。それ以上に、教職員自身の人間性や創造性を磨く時間が必要です。魅力的な教職員こそが、未来を担う子供たちの育成者と成り得ることを肝に銘じて働き方を確実に推進し、魅力ある子供たち、魅力ある教職員、魅力ある学校の実現に向け、最初の一步を踏み出します。

令和元年度茨城県学校長会 今年度の活動の方向性

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を十分に果たしながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた子供たちの育成に取り組む中、茨城県学校長会は、「理論も実践も兼ね備えた有言実行の教育専門家集団」として、教育の中心的な役割を担う組織としての自覚のもと、本会の活動を推進していく。

学校において、私たち校長は、トップリーダーとして明確なビジョンを示し、具体的な実践と検証を重ねながら、創意と活力に満ちた学校経営に努め、学校からの教育改革を推進することで、県民の信頼と期待に応えなければならない。

茨城県学校長会は、教育基本法を踏まえ、先達が築いてきた精神と業績を継承するとともに、英知と情熱を結集して、5つの基本方針と第3期中期教育ビジョンに示した今年度の活動目標の具現化に努める。

【今年度の重点】

<第3期中期教育ビジョン> ～「働き方改革」を実現し、新しい時代の教育を推進する～

《働き方改革の背景》

- 1 新学習指導要領の円滑な実施を通じた子供たちの資質・能力の育成
- 2 「日本型学校教育」と学校が抱える複雑化・多様化した課題への対応
- 3 長時間勤務の是正
- 4 持続可能な教師の勤務環境の整備
- 5 人生100年構想による展望

《働き方改革の目的》

膨大になってしまった学校及び教師の業務の範囲を明確にし、限られた時間の中で、教師の専門性を生かしつつ児童生徒と向かい合う時間を十分確保し、教師の日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、教師の人間性を高め児童生徒に真に必要な総合的な指導を持続的に行うことのできる状況を創り出すことを目的とする。

《働き方改革の効果》

「学校における働き方改革」の実現により、教師は“魅力ある仕事”であることが再認識され、教師自身も誇りをもって働くことができるようになり、それが児童生徒の教育に良い影響として還元される。

《視点1》 行政との連携

- ◇ 行政との連携による勤務時間等に関する調査を継続し、適正化に向けた施策を実施していく。
- ◇ 各種研修会や募集事業を検証し、精選等を図り、業務改善に向けた調整を進める。

《視点2》 学校の取組

- ◇ 研修等を通して教職員一人一人の資質や能力の向上を図り、効率的な公務遂行を可能にする。
- ◇ 勤務時間を可視化することにより各自が労働実態を把握するとともに改善への手立てを構築できるようにする。

《視点3》 組織・運営の改善

- ◇ 働き方改革の実現に向け、研究協議会での熟議を通して、具体的な施策を提案していく。
- ◇ 組織改編と効率的な運営を図りながら「われら意識」の高揚を促す校長会の在り方を追究する。

魅力ある教職の実現

各部・各委員会の構想

小学校部会



学校の輝きは、「働き方改革」から

部会長 鬼澤 真寿
(水戸・三の丸小)

「令和」という新しい時代名には、「美しい心を寄せ合わせ、新たな文化を生み出す」という意味が込められているそうです。諸外国に発信した英訳は、「Beautiful Harmony」。美しき調和を奏でる時代をみんなで創っていかなければなりません。

学校はまさに、美しき調和成り立つ場所です。学校、家庭、地域が子育ての目的を共有して同じ方向を目指して児童生徒を育てていくことが、健全育成の基盤となります。

茨城県小学校長会小学校部会

「子供のためであればどんな長時間勤務もよしとする働き方の中で、教師が疲弊していくのであれば、それは子供のためにはならない。学校における働き方改革の目的は、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすること、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること」と働き方改革について、中教審答申で示されています。

これを受けて、本部会では、先生方自身が、自らの人生を豊かにすることで、子供たちに魅力的な姿を示し、子供たちがその姿を見て、学ぶことの楽しさや未来への希望がもてる学校の実現を図ることを最優先課題と

中学校部会



やりがいのある校長の仕事

部会長 小野瀬 繁子
(水戸・第三中)

本年度は、第3期中期ビジョン「働き方改革」を実現し、新しい時代の教育を推進するの一年目に当たり、具体的な活動内容の「視点2学校の取組」として、課題の把握を設定している。そして、重点項目の一つとして、勤務時間に関する意識改革を挙げている。

すでに中学校では、部活動の改革に取り組んでいるところだが、各学校はどのような状況だろうか。国のガイドライン策定の趣旨を管理職だけでなく、部活動指導に関わる全ての指導者

とに、先生方の笑顔をつくり、子供たちの笑顔をつくる「令和元年」にするために、「われら意識」を掲げて、学校長自らが働き方改革に行動を示して取り組み、美しき調和を奏でる指揮者となる必要がある時代を迎えています。

適切に理解する必要がある。また、適切な指導・運営体制の整備や効果的な活動の推進、適切な休養日等の設定など、持続可能な部活動システムの構築を校長は推進していかなければならない。部活動改革が思うように進まないとしたら、何が課題なのだろうか。やはり教職員

ることの大切さが強調された。毎朝勤務時間より四十五分早めに出勤していると、一年でどれくらいになるか。学校行事のために過剰に準備に時間をかけていないか、地域の行事等にどれくらい参加しているかなど、具体例が示された。全てを見直すことは抵抗もあるだろうが、保護者や地域と共に考える機会も必要とのことであった。校長として、今何をすべきなのか、役割を示された思いがした。

その他、様々な教育システムを見直し、教師が専門職として自信をもって働けるような制度改革が必要であるとの説明に、抜本的な教育改革が迫られている時代背景を感じさせられた。

また、本年度は、新学習指導要領の円滑な実施のための校内整備の充実が取組の重点として挙げられる。

日々教師が生き生きと子供たちに向き合うこと、そして、若い世代が夢を抱き教師の仕事に魅力を感じること、そのために私たち校長ができることは何なのか、将来を見据え、まず、足元のひとつひとつのを見直し、改善を図っていききたい。すべては、未来に生きる子供たちのためである。

特別寄稿



社会が変われば
学びも変わる

教育庁学校教育部義務教育課

副参事 栗山賢司

「自宅に居ながら受けられる遠隔診療」や「空から宅配の荷物を届けてくれるドローン」、これらは少子高齢化や地域格差などの課題を解決し、一人一人が快適に暮らせる未来社会（ソサエティ五・〇の社会）の具体的な姿の一つとして内閣府より提唱されているものである。これは「遠い未来」の話ではなく、「すぐその未来」であり、この社会の到来を見据えて、教育の分野でも早急な対応が必要である。社会が変われば学びも変わるのである。

「発見した課題を分析する力」「探求する力」「解決に向けて実行する力」などが必要となる。子供たち一人一人の学力を最大限に伸ばす学習指導や探求する学習・活動などを通して、これらの資質や能力を育成できるようなカリキュラム・マネジメントの確立が校長の責務である。

カリキュラム・マネジメントの確立に向けては、目標に照らした全ての教育活動の点検、既存のやり方にとられない手立ての最適化、学校や地域の特徴・状況に応じ、活用できる資源の開拓などの視点が必要である。このような中、「新時代の学びを支える先端技術のフル活用に向けて」（柴山・学びの革新プラン）が二〇一八年十一月に公表されたが、その政策の柱として最初に示されているのが遠隔教育である。

遠隔教育については、これまでも合同授業型としてテレビ会議が行われたり、遠隔地にある教育資源を活用した教師支援型

の授業が行われたりしてきたが、本県では、さらに教科・科目充実型の遠隔教育にも取り組んでいきたいと考えている。その際、英語科やプログラミングの授業において、ネイティブスピーカーやプログラミン

の専門性を有する外部人材等を活用して、より質の高い教育の実現を目指したい。高い専門的知識や様々な経験を有する人材を教科の学習に迎え入れることにより、学校教育の多様化への対応が図れるとともに、教員の資質向上や働き方改革にも資するものとして期待できると考えている。

一方、ソサエティ五・〇の社会になっても、義務教育に求められるものは、まず学びの基礎を固めることであり、遠隔教育を推進する中でも、協働的な学びを大切にしていきたい。それは、人と人との直接的な触れ合いが教育の基盤であり、遠隔教育が効果を発揮する前提として、その基盤が成立していることが不可欠であるからである。校長先生方には、時代の変化に対応した学校づくりを推進するために、これらの視点を踏まえたランドデザインを構築し、その実現に向けてご尽力いただきたいと思います。

行 財 政



第3期中期教育ビジョン
の具現化を目指して

委員長 海野 隆

本委員会は、行財政上の諸問題に関する調査と研究を行い、「教育行政に関する要望書」を作成し、学校長会として県教育委員会教育長へ提出活動を行います。

本年度は、茨城県学校長会第3期中期教育ビジョン（三か年活動計画）のスタートの年です。これを受けて、重点施策の視点一「少人数指導教育（少人数学級）の充実のための調査研究」に継続して取り組み、調査研究委員会と連携しながら、茨城県教育委員会への要望書を作成してまいります。要望書作成にあたっては、会員の皆様にご協力いただいたアンケート調査結果を反映してまいります。

また、重点施策の「組織及び運営の見直しの推進と検証」の一環として、従来から半減した委員数での運営に取り組み、今後の「行財政委員会と調査研究委員会との統合」に向けて検証を進めてまいります。

委員長 海野 隆（木下野小）
副委員長 角谷 直人（永双葉小）

副委員長 柴田 均（木柳河小）
幹 事 霜田 豊（永寿小）
同 河原井信幸（木堀原小）
小委員会代表 高橋 重樹（木外野小）
同 増田 忠廣（那第四中）

二 活動目標
第2期中期教育ビジョンの成果と課題及び第3期中期教育ビジョンの重点を踏まえて、調査・分析・検証を行い、要望活動につなげ、「学校からの教育改革」をより推進する。

三 活動内容
(一) 教育課題解決のための諸施策に関する調査研究
① 少人数指導教育に関する調査研究と検証
② 教職員定数・教育環境・働き方改革等に関する調査研究と検証
(二) 県への要望
① 要望書の作成と要望行動
② 義務教育課・行財政合同検討会の開催
(三) 調査研究委員会との統合を視野に入れた運営・検証及び次年度の活動計画の作成

法 制



「学校運営必携（第十二訂版）」の発行に向けて

委員長 稲野邊 親

本委員会は、学校運営上の法的問題に関する調査研究を行い、教職員の法制意識の向上と円滑な学校運営に資することを目的としています。

本年度は主に、「学校運営必携」を三年ぶりに改訂し、第十二訂版の発行に向けて活動していきます。

そのため今年度は、「学校長必携」の発行はありません。（例年県教頭会「法制研修会記録」との合本）

併せて、県教頭会との連携をさらに進め、法制に関する合同研修会を実施します。

一 組織

- 委員長 稲野邊 親（永・第三中）
- 副委員長 根本政世士（潮・粟中）
- 同 塚谷 千穂（主・祐南）
- 幹 事 石塚 昌義（永・市奈）
- 同 米川 順子（茨・葵小）
- 同 橋本 浩志（心・市毛小）
- 同 武石 洋（常・森郷小）
- 同 花ヶ崎貴代美（神・崎西小）
- 同 畑山 尚弘（分・下福声）
- 同 斎藤 紀子（吉・西奈）

二 活動内容

- (一)「学校運営必携（第十二訂版）」の発行
- (二)法制に関する研修会の開催

調査研究



第3期中期教育ビジョン達成に寄与する調査活動

委員長 久地岡 啓一郎

本委員会は、教育における今日的課題について各学校の調査を行うことにより現状を把握し、県学校長会が課題解決に向けて提言・活動等を行うための資料として調査結果を提供することを主な目的として活動しています。各調査の結果は、各学校の経営や業務の改善に生かせるように還元します。

また、各学校の特色ある教育活動を調査し、互いに参考にできるように結果を公表し、各学校の教育活動や研究の改善、活性化の一助としていただく活動も行っています。

一 組織

- 委員長 久地岡啓一郎（永・河相小）
- 副委員長 宮田 浩昭（巨・田尻小）
- 同 木下 健（鉾・白鳥小）

(二)小委員会・ブロック別研修会（五月～十月）

・改訂する学校運営必携の原稿の検討等

(三)学校長会法制委員会・教頭会法制部合同研修会

・学校運営上の諸問題について県教育庁学校教育部義務教育課による指導・助言

広 報



会員相互の交流の場に

委員長 長谷川 聡

広報委員会は、会員相互の情報共有化を図るとともに、学校現場で直面している課題の解決に役立つ会報の作成に努めてまいります。

一 組織

- 委員長 長谷川聡（永・鯉淵小）
- 副委員長 春原孝政（永・稲荷二）
- 同 矢口典子（笠・嵩小）
- 幹 事 片岡寿夫（永・笠原小）
- 同 井上雅裕（菅・美和）
- 校正委員 安島可子（永・千波中）
- 小委員 吉永成範（小・玉里中）、萩谷智徳（那珂・東海南中）、勝間田忠彦（日・櫛形小）、関根紀夫（高・秋山小）、宮内芳孝（鹿・高松中）、横田清子（鉾・上島東小）、坂上彰弘（行・北浦中）、井上勉（石・小桜小）、黒羽勉（取・取手東小）、飯島孝子（つくば・前野小）、金田正浩（稲敷・高田小）、豊嶋俊彦（つくばみらい）

二 活動目標

- (一)学校長会の活動方針・事業等の周知及び情報の共有化
- (二)会員相互の連帯感（われら意識）の高揚及び情報交換
- (三)その他必要に応じた広報活動

三 発行計画及び内容

- (一)二四四号（七月）「令和元年度の活動の方向、各部、各委員会の構想、新入会員紹介」
- (二)二四五号（十一月）「特色ある学校経営、創意を生かした特色ある教育課程、先輩と語る会報告」
- (三)二四六号（二月）「危機管理体制の整備と学校安全の確保、新年度に備えて」

続実施と分析・考察

・十月における超過勤務時間数等の調査

(四)全連小・全日中の各種調査への協力等

・調査依頼校の選定
・調査用紙等の集約と報告
・研究校便覧掲載校の推薦
・各種調査へのご協力をお願いいたします。

課題



学校における働き方改革と魅力ある学校づくり

学校長会副会長 土田 十司作
(つくば・手代木中)

今年度から第三期中期教育ビジョン「働き方改革の実現による新しい時代の教育の推進」がスタートした。

平成三十一年一月の中教審答申では、学校における働き方改革の目的を、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになることとされている。

働き方改革は様々な場面で叫ばれているが、実感を伴った改革をいかに進めていくかが課題である。そのためには、校長のリーダーシップのもと、徹底した業務の削減と教職員の意識改革が必要ではないだろうか。

ある調査によると、教師は平均して勤務時間の四十五分前までは出勤しているとの結果が出ている。これだけでも年間百数十時間の勤務になるとの指摘がある。登校の見守りや教材準備など朝の時間は教師にとって

大変貴重であるが、今までのそういった活動にも見直しの視点を持つ必要があるのではないだろうか。教師の意識改革のスタートは、「時間は限りあるリソースである」ことをしっかりと認識することである。学校は、教員間の情報交換が重要であるが、時間を絶えず意識し、仕事に優先順位をつけて行うことなど一つ一つの職員の意識改革を進めていかなければならない。大学駅伝のあるチームでは、「その一秒をけずりだせ」という方針があると聞いている。私たちも強い決意のもと、校務を見直していかなければならない。

昨年度、本市では校長会を中心に、市全体で行う行事や諸活動の見直しを行った。部活動では、年間を通して朝練を廃止した。職員からは、家族で朝食を一緒にとれるようになったり、始業前の打合せができたりとゆとりができたとの声がある。また、音楽会、小学校陸上大会、文集などをなくしたことで、出張や校内での練習時間がかなり削減

された。市校長会の研修では、働き方改革をテーマに取り組み、行政との連携に関する様々な提案が出された。それを受け、市行政当局との話し合いをもっている。その中で、スクールロイヤーの設置、給食の公会計化、文書配送員の配置などが実現し、IC T環境の整備も進んでいる。今年度は、大学、市教委、民間企業、学校の四者で働き方改革プロジェクトチームが発足した。大学や民間企業の視点から、学校だけでは解決できない問題について、新たな解決策を提示していただけるものと強く期待している。市校長会でも、校長会の研修部とこのプロジェクトチームとの連携を図ることが重要であると考えている。

先日の全日本中学校長会総会で次のような話があった。今は、警察や消防などの新規採用でも人が集まらない深刻な人手不足である。ましてや学校はブラックであると報道がされている。学校の勤務条件を変えないと優秀な人材が集まらない。

県校長会としても、「われら意識」のもと、新教育ビジョンに基づいた働きやすい魅力ある職場づくりに全力で取り組んでいきたい。



総会の様子

市町村教育委員会と学校長会

水戸市

学校運営協議会制度の導入に向けて

水戸・緑岡中
木下 美直

国の法改正に伴い、平成二九年四月より「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」の設置が市町村の努力義務となった。

それを受け、水戸市学校長会は昨年度「併設型小中学校代表校長連絡協議会」において、市教委とともに八回にわたる協議を重ねた。その後規則の制定や市議会への報告を経て、本年度四月から市内全校で導入することができたところである。

一 本市の現状

本市は平成二九年度より義務教育学校以外全ての水戸市立小・中学校が「併設型小・中学校」に移行している。そして一貫した教育を実現するための教育課程の編成等を行ってきた。

しかし、これらをなお一層推進していくためには、これまで以上に地域との連携が必要であり、ここに「地域とともにある

学校」を目指す「学校運営協議会制度」を導入する意味がある。二 代表校長連絡協議会での協議を経て

本市の場合、中学校区が一六ある。当初はその中学校区ごとに「学校運営協議会」を小中合同で設置する提案がなされた。それは小・中で一貫性のある学校経営の基本方針の承認を得るためには極めて合理的な方策である。

しかし、これまでの学校評議員・学校関係者評価委員制度からの移行期でもあるため、一部の学校長から「地域の特質等を考慮すると運営上混乱をきたす不安がある」との意見も見られた。特に一つの中学校区に三校以上の小学校を抱えているところが半数以上である。そこには小学校区ごとに既存の地域コミュニティがあり、様々な実態があることが関係している。

三 学校運営協議会の発足まで
以上の課題については、中学校区ごとの校長同士でも協議を行い、結果的に六つの中学校区が小中合同で、十の中学校区は学校ごとに運営協議会を設置する方向となった。そしていよいよ

よ実施初年度を迎え、現在のところ各校概ねスムーズな導入ができていくようである。

今後は多岐にわたる課題を抱える学校が、本システムを活用し、保護者や地域と共に「社会総がかりの教育」をいかに実現していくかが問われてくるのである。

水戸には「衆思を集めて群力を宣ぶ」という先人の言葉がある。このように本市学校長会は、市教委と緊密な連携を図りながら、会員相互の議論や情報の共有等を行い、令和の時代にあってもたくましく生きていく児童生徒の育成のための学校経営を追求している。

高萩市

市教育委員会との連携協同

高萩・高萩小
國井 徹

高萩市学校長会は、小学校四校、中学校三校の計七校で組織されている。

七校の校長が常に同じ目線に

立ち、仲間意識をもって学校経営にあたるよう、学校長会は定例学校長会と必要に応じた臨時学校長会を開催している。

学力向上や不登校対策、保護者対応、働き方改革等、課題に真摯に向き合い、全校長の共通理解のもとに、状況を打開していくことが学校長会の重要な役割の一つと捉えている。

特に、定例学校長会を毎月一回開催し、市内の公立幼稚園四園の園長を含め、学校経営上の課題研修や情報交換等を行い、学校教育の向上に努めている。その際、高萩市教育委員会より、教育長・教育部長及び各課長から指導助言をいただいている。

そして、教育予算や危機管理、人事上の課題等、多岐にわたる学校経営上の課題解決には、学校長会と市教育委員会との連携が極めて重要であることを踏まえ、小規模な組織という利点を生かして、市教育委員会との大変緻密な連携協同に取り組んでいる。

一 教師力向上

教師力及びリーダー性向上のため、校長、教頭、教務主任、学年主任等を対象に学校管理経営研修会を実施している。県北教育事務所長を講師として招き、管理職としての心得や直面する教育課題等について講話を

いただき、研鑽に努めている。

二 授業力向上

新採教員及び二、三年次の教員、参加を希望する講師を対象に、授業力向上研修会を実施している。学級経営や教材研究の進め方、指導案作成等の研修を深め、指導力の向上を図っている。

三 コミュニティスクール

令和二年度の全七校のコミュニティスクール化に向け、中学校区の学校運営協議会制度連絡協議会を年間三回実施している。校長、教頭、地域連携コーディネーター及び社会教育主事が参加し、年間の活動計画やブランドデザインの見直しに取り組み、準備を進めている。

四 働き方改革

働き方改革をより一層推進するために、プロジェクトチームでの推進会議を開催している。校長、教頭、教諭、事務の代表と市教育委員会で、各学校で実践している取組を共有するとともに、現在学校が担っている業務を大胆に見直し、教師が笑顔で児童生徒と向き合えるように、業務削減に努めている。

以上、高萩市学校長会は、今後も市教育委員会と連携協力し、保護者・地域の期待に応えるべく全力を尽くしていく。

提言二題

令和の幕開け「パーツと扉を開けましょう!」



PTA市長
宮大市
陸大宮市PTA
常連協議会
長須 修

私がPTA活動に携わり六年目を迎えました。市P連会長を仰せつかり、思ってもいなかった展開に戸惑いながらも前向きに務め上げようと自分を鼓舞しつつ、一方では、叱られてしまいかもしれませんが、正直「面倒だなあ」「誰かやってくれたらなあ」と思うことも少なくありません。そんな私を前向きにしてくれるのは、子供たちや学校、地域のためにとご尽力くださる保護者の皆様、地域の方々、先生方の「忘己利他」の姿勢です。学校行事の準備や後片付け、PTA活動、日々の見守り活動等々、それぞれの都合や事情があるにもかかわらず一生懸命に協力してくださるお陰ですごく気持ち救われ勇気づけられます。そして、そのような皆様のお姿を感じられたのは、このPTA活動に携わったからこそであり、そこで得られた繋がりがりや

経験、感謝の心は私にとってかけがえないものです。今回寄稿するにあたりPTA活動を振り返る中で、教育学者、心理学者J・Dクラウンボルトの『ブランド・ハップンスタンス・セオリー』というキャリア理論を思い出しました。「個人のキャリアの八割は予期していなかった偶然の出来事によって形成されている」というものです。オーブンマインドでいろいろな事柄や人に興味をもち、リスクや失敗を恐れずまずはやってみる、そのように行動する人は偶然を好機として掴み易くなり、自己の成長に繋がられるというこのようです。PTA活動に携わっている皆さんは、このような積極的な姿勢をもった方が多いように感じます。それゆえに、アクティブでバイタリティに溢れ、人と人との繋がりを大事にされる方が多く、PTA以外でも様々な場面でご活躍されているようにお見受けします。私も、そのような皆さんと接することで刺激を受け、もっと積極的に行動しなければと奮奮させられ、何とか役割や会合をこなしている状況です。しかしながら、自分の子供のために始めたはずの活動が、夕食時の家族団欒の時間や休日を割くことも多くなり、子供との他愛の

ない時間がとりにくくなっているのも事実です。気が付いたら「忘己利他」が本当に「もう懲りた」になってしまいかねないとも感じております。少しは自分自身の「利」にも目を向け、その上で人様の「利」に寄り添ってきたらと思っております。自身自身への提言となつてしまいいし訳ありません。最後に、PTAは「パーツと、楽しく、集まろう」の略でもあると聞いたことがあります。そんなノリでいいと思います。そして願わくば、令和元年、この記念すべきタイミングで携わり縁あって繋がりをもてた皆様で、新時代の新たな風も吹き込めるよう「パーツと、扉を開けてまいりましょう!」

いまできる

PTA活動を考える



小・中学校
立小
市立
PTA
連合会
木村 雅史

令和元年度、日上市立小・中学校PTA連合会会長を仰せつかることになりました木村雅史と申します。昨年度に引き続き二年目になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、日頃より、校長先生をはじめ各学校関係者の皆様方には、子供たちのために熱心にご指導いただき、さらにPTA活動にもご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、日上市P連は、小学校二五校、中学校一五校の計四〇校で構成されております。そして、平成三〇年度の会員数は一二五六一人ですが、毎年五〇〇人程度減少してきています。この状況は、ほとんどの市町村でも同じような傾向にあると思えますが、会員数の減少や、会員の方々の考え方の変化によって、各学校でのPTA会長の選出やPTA活動自体が難しくなつてきているのではないかと思われます。また、せっかくPTA会長になられた方でも大変な思いをされて、悩まれている方も多くいるのではないかと思います。今年度、日上市P連では、各単P会長の方々と情報交換会を多く開催し、各学校での悩みごとや、成功談、失敗談などを話すことで、問題を解決できる場所をつくつていこうと考えています。日上市は学校数も多くそれぞれに活発な活動をしていきますが、他の学校での活動などを知る機会が少なく、今までは話し合う場も少なかったように思います。

単P会長でも話すことが得意な方や、苦手な方がいると思います。特に苦手な方は市P連で何をやったのか分からないまま一年が過ぎてしまうことがあるのではないかと思いますので、単P会長同士がいろいろな話をし、各学校でも活用できる情報を多く持ち帰れる会をつくりたいと思っております。

なぜ、このような会が必要と考えているかというと、私が単P会長の時に実際に感じたことで、市P連の会議に出た際に、何のために集まっているのかがよく分からないまま終わってしまったことがあり、その時のことを他の方々に話をしたところ、同じように感じていた方が意外と多かった経験から、今年度開催してみたいと考えました。

このような活動から、単P会長の負担を軽減でき、PTA活動に対して、これまでどおりではなく、他の学校の真似からでもよいので、現状の学校環境や今の時代に合った活動方法に変えることができる手助けになればよいと考えています。

そして、みんなが負担に感じずに、協力し合いながら、子供たちのために楽しく活動できるPTAを考えていけば、きっと、これからもよいPTA活動が続けられると思っております。



創意と活力に満ちた 学校経営

ダイヤモンドシティ小美玉で
一人一人が輝く学校づくり
小美玉・美野里中
片山 聡彦

本校は、常磐線、常磐自動車道、東関東自動車道、茨城空港と交通網の恵まれた地域に立地している。

今年、創立五〇周年を迎える歴史と伝統のある学校であり、生徒数七一六名、学級数二三学級の大規模校でもある。

市の掲げているダイヤモンドシティを受け、「一人一人が輝く学校づくり」を学校経営の基本方針に位置づけている。さらに、具体化のキーワードを「ダイヤモンドで磨く」と定め、生徒をダイヤモンドに見立て、生徒相互の磨き合いを重視した学校経営に努めている。

一 輝ける自分がいて、周りの人を磨くことができる
体と心が健康でなければ人と

関わる力がでない。

本校では、毎日、朝の会の時間に「心と体のセルフチェックシート」を活用し、体・心・朝食について確認している。さらに、「心と体のスケッチ」と題したスペースに簡単に今の気持ちを書かせるようにしている。

このシートは、担任が毎日確認し、保管する。週末には、まとめて養護教諭に提出する。養護教諭は、シートをチェックし、対応が必要な生徒には健康相談等を行う。ケースによっては生徒指導主事やSC、SSWとの連携を図る。

二 磨き合いができる授業づくり（全教科要請訪問）

学び合いを通して、思考力・表現力を磨く授業づくりに取り組んでいる。

(一) 学び合いの環境づくり



ア コの字の机の配置
お互いの顔を見ながら話したり、聞いたりさせる。

イ 四人組のグループ学習
四人組で、男女混合の市松模様で座ることにより、異性による支え合う関係が引き出せるようにしている。

(二) 研究授業による磨き合い
全教科要請訪問

教師同士の磨き合いを起こすきっかけをつくる。教師集団の中に互いに高め合うよい関係やより高いレベルの授業を目指していく雰囲気をつくるように。

イ 参観のための技術を磨く
参観する視点の設定や生徒のつぶやきの聞き取り方や表情の読み取り方の研修、参観後の協議会の効果的な進め方などの研修を行っている。

三 部活動による磨き合いのありかた（運動部活動適正化モデル校）

(一) スーパーバイザーの活用による効果的な部活動の運営

ア 無駄な時間をなくす
イ 場所や道具の有効活用
ウ 練習の組み立て

(二) 顧問の取組
ア ティーチングとコーチングを使い分ける

イ 初めてのプレーは丁寧に
ウ 生徒が考える場面設定
バスケットボールを取り上げた研究成果を他競技に還元できるように顧問会議等指導力の磨き合いを行うようにしている。

四 経営能力の磨き合い
組織目標の実現に向けて、学年ごとのグループをやめ、年代別のグループに変えた。同年代だから共感できる課題への気づきやその解決方法を練り合うこ

とで、より効果的で実践的な磨き合いができるようにした。

五 終わりに
「ダイヤモンド」というキーワードを核として、生徒同士の磨き合い、教師同士の磨き合い、教師と生徒が関わることで起こる磨き合いの場を意識するようになってきた。生徒・職員に丁寧な光をあてることで、学習意欲・勤務意欲を引き出し、一人一人が光を受けて、曇りのない美しい光を放てるような学校づくりに取り組んでいきたい。



笑顔あふれる幸せな
学校づくりを目指して

潮来・第二中
若松 裕一

本校は、潮来市の東部、北浦を臨む自然豊かな地域に立地している。創立五八年を迎える歴史と伝統があり、生徒数一六二名、教職員数二四名の地域に根ざした学校である。

一 目指す学校の姿

本校では、生徒のよさや可能性を最大限に引き出し、笑顔あふれる幸せな学校づくりを目指して、保護者・地域との協働や関係機関等との連携により、全職員が一丸となって教育活動に取り組んでいる。

二 目指す生徒の姿

夢に向かって志を立てて頑張る生徒の育成を目指して、生徒が校訓「たくましく前進」を体現できるよう「克己」「感謝」「貢献」の三つのキーワードを意識した生活を送るよう指導・支援している。今この瞬間を大事にして、当たり前のことが当たり前にできる生徒、今の自分があることを感謝し、自分を生かし、友達

や学校、地域のために役立てられる生徒を育てていきたい。

三 目指す教師の姿

深い愛情と情熱をもって生徒のよさや可能性を引き出せる教師集団を目指し、一人一人が自分の持ち味を生かしながら専門性を高められるよう研修を行っている。

四 具体的な取組

ここでは、特に今年度力を入れている取組を紹介する。



(一)望ましい生活習慣の育成

- ア 元気な挨拶・返事
- イ 規則正しい生活
- ウ 笑顔で活動
- エ 交通安全・情報モラル

昨年度は、食育・生活習慣の改善をテーマに、全校で「早寝早起き朝ごはん」運動に取り組んだ。今年度は、メディア・ダイエットの観点から生活習慣の改善に取り組むとともに情報モラル教育の推進を図りたい。

また、本校では、生徒会の呼びかけで金曜日を無言清掃の日とし、「無言で」「集中して」「とにかく頑張る」を約束事として、潮来二中も心も磨くを合い言葉に清掃活動に力を入れていることも特色の一つである。

(二)生きて働く学力の育成

- ア 主体的・対話的で深い学びのある授業
- イ 基礎・基本の確実な習得
- ウ 読書活動の推進

今年度は、提案授業や相互授業参観に加えて、研究主任が全校朝会の中で学習のポイント等を確認する場を設定し

ている。全校生徒・全職員で本校の目指す学び合い(愛)

を共有し、教科や学年の枠を越えて、授業改善に取り組んでいる。また、こうして育まれた資質・能力が実社会で生かせるよう、さらに研修を深めていきたい。

(三)将来の夢や希望の育成

- ア 道徳教育の推進
- イ 生徒主体の学校行事
- ウ 夢を育むキャリア教育

本校では、これまで生徒が高い目標に向かって挑戦したり、粘り強く努力し続けたりできるよう、心に響く道徳教育の推進、生徒主体の行事運営や部活動の実施に努めてきた。今年度は、茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックへの取組と自分の夢を実現したり追い続けたりしている方々から学ぶ機会を設定することなどにより、さらなる充実に努めたい。

五 おわりに

本校では、日々、生徒一人一人が自分の目標に向かって当たり前のことを当たり前に、笑顔で取り組む景色が広がってい

る。これが本校の校風である。大きく息を吸い込むと、これほどどれほどの方々が、どれほどの愛情を注ぎ子供たちを大切に育んできたのかを感じることができる。赴任して二ヶ月余り。学校の経営者であり責任者としての自覚を新たに、今後も職員一丸となって教育目標の具現化、健やかな生徒の育成に全力で取り組んでいきたい。



「夢をはぐくみ一人一人が輝く
学校づくり」を目指して

土浦・都和南小
塚谷 千穂

本校は、土浦市の北部に位置し、学校の周りには住宅や田園風景が広がるのどかな環境のなかにある。昭和五八年に都和小学校から分離し、創立三十七年目を迎えている。地域の学校愛が深く、「地域が子供を守る」ことを大切にし、下校時には随所に交通安全パトロールのボランティアが、毎日子供たちを見守ってくれるなど、学校教育活動へ協力的である。また、平成三〇年度より都和中地区小中一貫校として、スタートしている。

一 めざす学校・児童像

学校経営のスローガンは「夢をはぐくむ子供が主役の楽しい都和南小学校」である。一人一人が自己有用感をもって輝けるように、めざす児童像を「あいつとうた」にあふれる子+スマイル&スマート！（笑顔でかっこよく！）とし、実現に向けて子供たちと共に取り組んでいる。「あいつとうた」は、あいつをつ

する、いのちを守る、ときを守る、周りの人がうれしくなることをする、たのしく勉強するからとつている。

二 具体的な取組

(一) 確かな学力の習得

誰にもわかりやすい授業を目指し、都和中地区学びのユニバーサルデザイン《①見通しがもてるようにする。②話し方を工夫する③視覚的に示す④板書と机間指導の工夫⑤肯定的に評価する》を実施している。また、個に応じた指導を行うためワンアップ教室を設置し、算数科において少人数指導を行い学力向上を目指している。

(二) 豊かな心の育成

いじめ撲滅のため、各クラスのスローガンを発表する「みんなニコニコ集会」等の実施により、いじめ防止に向けた風土づくりや、好ましい人間関係を育む集団活動の充実のため、ソーシャルスキルの定着に向けて「都和中地区スキルブック」や「話し合い活動の手引き」を活用している。更に、児童のよさを認め伸ば



すために、遊びや清掃を「縦割り班」で活動し、高学年の自己肯定感、自己有用感もてるように工夫している。また、年二回のQ.Uテストや希望した先生と話が出来る「先生と話そうよ週間」を計画的に実施し、児童一人一人に寄り添う指導を充実させている。

(三) 安心安全な学校づくり

都和南小では、毎年十一月に都和南小学校区防災訓練を行っている。朝、消防団のサイレンを合図に町内ごとに集場合所に集まり、町旗を先頭

に学校へ避難してくることから始まる。学校では、地域の人と保護者と児童と一緒に、消防署員や消防団、婦人防火クラブの方々の指導を受けながら、消火訓練、搬送訓練、応急救護訓練、煙・通報訓練、バケツリレー、学校の地下タンクから水を出す方法を知る

水の確保訓練、防災倉庫の用具の使い方を知る訓練等を実施している。今年度で七年目となるが、東日本大震災の教訓を忘れないように災害に備えている。

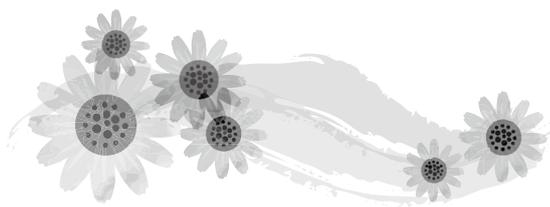
(四) 学校段階間を円滑に接続する取組

都和中地区小中一貫校として二年目を迎えている。都和中、都和小、都和南小の三校での一貫校である。小中一貫教育目標を「自ら学び考え、心豊かに、たくましく生きる児童生徒の育成」とし、三校の職員を「確かな学力」部会「豊かな心」部会「健やかな体」部会に分け、九年間を見通した系統的な学習活動や道徳教育による心の教育、生活習慣の確立に向けて取り組

んでいる。このことにより中一ギャップが軽減することを期待している。また、保幼小の連携に対しても、都和中地区保幼小連携協議会を立ち上げ、相互授業参観や交流会により円滑な接続を目指している。

三 終わりに

本校勤務三年目、頼もしい職員とかわいい子供たちと共に学校生活が過ぎていくことに感謝し、「チームみなみ」一丸となって「夢をはぐくむ子供が主役の楽しい学校」に向けて、学校経営にあたっていきたい。



夢と感動のある
学校を目指して

結城郡・八千代一中
栃木 孝行

本校は県西地区のほぼ中央に位置し、生徒数三六六名・教職員数三六名・学級数一五（特支四舎）の、創立五六年目を迎えた学校です。

「教育は、教える意味としてだけではなく、大人も共に育つ」「共育」、手を携えながら、協力して育てる「協育」でありたい。」年度当初のPTA総会の際に、保護者の方々に是非共有させていただきたいこととして伝えていくことです。『教育』共育・協育

「創意と活力に満ちた学校経営」の基盤は、生徒を取り巻く、全ての関係者と学校の考える理念・目標や合い言葉等を共有し、総意に基づくものでありたいと切に願っています。

- 一 目指す学校像
- 二 学校教育目標

鋭い知性・温かい心情・強い意志と身体をもった生徒の育成

三 組織目標

○夢の実現につながる確かな学力を身に付けさせるために、教師と生徒、生徒間の対話的・協働的な交流活動を工夫した授業を展開する。

○特別活動を核に生徒が自分のよさを発揮し、誇りをもつことができる居心地のよい学級・学校づくりを推進する。

四 目標を達成させるための二つの合い言葉やスローガン

★合い言葉①
『諦めずに 相談し合って ベストを尽くす』

この合い言葉の三つの文節の頭文字には別の意味をもたせています。『諦めずに』の「あ」は、あいさつの「あ」です。元氣よく「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と挨拶の飛び交う学校です。また、「あ」は、「当たり前」のことを当たり前前にできる』の「あ」でもあります。相談し合って『そ』は、そうじの「そ」です。八千代一中には「自問清掃」という言葉があります。自分自身

に問いかけながら、教室や廊下を磨き、心も磨く清掃活動です。ベストを尽くすの「ベ」は、べんきょうの「べ」です。登校する第一の目的は勉強・学習することです。

★合い言葉②
『ルールを守ればルールが自分たちを守ってくれる』
夢と感動のある学校の基盤ともなる最も大切な合い言葉です。登下校時の交通には十分気を付けるなど、自分の身（命）は自分で守るということです。



★部活動激励会四字熟語

『一意専心』『一騎当千』

★体育祭スローガン

『平成最後の戦い 点滴穿石』
『魅せる勇姿、輝け闘志』

★修学旅行スローガン

『温故知新』
『令和の幕開けに故きを温ね、新しき未来を切り拓く』

私たちは、言語（言葉）で考え、判断し、行動しています。挨拶や掃除・勉強に、諦めずに相談し合ってベストを尽くそうとする姿の裏には、言葉があり、時には誰かの顔があり、行動のきっかけを作っていると考えています。

ここ数年本校では、以前から継承されてきた『当たり前』のことを当たり前前にできる』のキャッチフレーズについて、「当たり前前の質を高めていこう」と、本年度の生徒会のスローガンには『継承』築きあげた伝統・誇りを胸にさらなる高みへ』と掲げられました。朝に昼に夕に、高みを目指して、挨拶や掃除に取り組む生徒たちの姿を多く見ることが出来ます。

五 終わりに

昨年度の生徒会スローガンは、『飛翔』Fly High』熱き一中の伝統・友情・信頼・絆』と掲げられました。夢と感動のある学校は、一人一人の努力で友情と信頼関係を築き、絆を深めながら、伝統を受け継ぎ、生徒一人一人が誇りをもつことのできる学校です。

創意と活力に満ちた学校の源泉は、総意に基づく言葉が原動力の一つになるのではないかと考えています。



大会に参加して

第七一回全連小総会・ 研修会に参加して

神栖 息栖小 大川 俊一

第七一回全国連合小学校長会
総会・研修会が五月二二日、東
京都港区ニッショーホールで開
催され、茨城県の代議員として
参加させていただいた。

喜名朝博会長からは、「来年
度から始まる新学習指導要領の
準備、働き方改革取り組み等、
校長会として連携していこう。」
と力強いあいさつがあった。

- 今年度の活動方針では、
- 一 学校経営の充実
- 二 調査・研究活動の充実
- 三 「生きる力」の育成を旨
指す教育課程の編成・実施・
評価・改善
- 四 教職員の資質能力の向上
- 五 教職員の定数や処遇の改善

を推進することが承認された。
宣言決議では、校長が自らの
使命に誇りをもち、リーダーシ
ップを発揮し、小学校教育の充実
発展に努め、自らの使命を自覚
し、学び続け、子供たちと学校
の未来を見据えた計画と実行力
を持つ校長会として、新たに、
学校における働き方改革、児童



の安全・安心を保障する人材確
保、施設設備等の充実が加えら
れ、一五の宣言項目の実現に向
け取り組むことが宣言された。
来賓としてこられた浮島智子
文部科学副大臣からは、教育の
質の維持に取り組んでいる先生
方に感謝をし、今後訪れる予測
不可能な社会を生き抜く子供た
ちの育成、並びに働き方改革に
向け全力で取り組むんで行くと
の心強い祝辞をいただいた。

第七一回関東甲信越地区小学校長 研究協議会千葉大会に参加して

下妻・下妻小 酒寄 亨一

第七一回 関東甲信越地区小



学校長研究協議会千葉大会が六
月一三日、一四日の両日、千葉
市において開催された。本県か
らは、鬼澤真寿茨城県学校長会
会長はじめ五八名が参加した。
第一日目は、千葉県文化会館に
おいて、開会式、全体会、記念
講演が行われた。

開会式では、中澤泰藏実行委
員長から大会主題及び副主題
を、「新たな知を拓き 人間の育
豊かな社会を築く 日本人の育
成を目指す小学校教育の推進」
と豊かな発想力や創造性を身に
付け多様な人々と協働しながら
未来を拓く子供を育む学校経営
とすることが確認された。

続く、全体会では、大会主旨
説明後、大会宣言が朗読された。
記念講演は、「ロボット技術と
未来社会」を演題に、千葉工業

大学未来ロボット技術センター
所長の古田貴之氏の講演があつ
た。最先端のロボット技術に驚
かされるとともに、軽妙な語り
口に引き込まれてしまった。

第二日目は、二四の分散会に
分かれての提案発表後、六名程
度の小グループとなり、各参加
者が課題を出し合い、それらを
軸に活発な意見交換が行われた。

この二日間、県内外の多くの
校長先生方と積極的な情報交換
を行うことができ、大変有意義
な研修となった。

第七十回全日本中学校長 会総会に参加して

水戸・第四中 皆川 澄雄

総会は、五月二二日、二三日
の両日、国立オリンピック記念
青少年総合センターを会場とし
て開催された。

第一日目は、前年度役員表彰
議事が行われた。始めに山本聖
志会長が三〇年度の活動につい
て総括したの続き、祝辞に
立った文科省初等中等教育局長
尾篤志氏を始め三名の来賓の
方々から激励の言葉を頂いた。

議事は、平成三〇年度の各部
の会務報告、会計決算報告に続
き、新会長に荒川区立尾久八幡
中学校の川越豊彦校長を選出し
た。川越新会長からは、就任の

挨拶として三点が述べられた。
一点目は、新学習指導要領の円
滑な実施に向けての取組、二点
目は学校における働き方改革の
推進、三点目は、全日中教育ビ
ジョンの策定の推進であった。

その後、令和元年度の活動方針
案、予算案等が承認され総会の
宣言・決議がなされた。

第二日目は、「当面する初等
教育上の諸問題」という演題で
初等中等教育局滝波泰教育課程
課長の講演があった。今日的な
諸課題への対応についてのご講
演であった。その後、文部科学
省より文部科学省行政説明があ
り閉幕となった。

「学校からの教育改革」の推
進に向け、教育改革のうねりの
中、校長としての使命感とリー
ダーシップ、連携の重要性を再
認識した総会であった。



中央

水戸市
笠間市
ひたちなか市
常陸大宮市
那珂市
小美玉市
東茨城郡
那珂郡

生きる力を育む創意と
活力に満ちた学校経営

新会員の抱負



水戸・寿小
霜田 豊

温かく協力的な地域や保護者の方々と有難い「つながり」に支えられ、寿小学校で再び働ける喜びと校長としての職責の重さを感じています。

「つなげる」「つながる」をスローガンに、元氣いっぱいの子童六五〇名の輝く笑顔のため、熱意あふれる教職員とともに一杯取り組んでまいります。



水戸・石川小
豊田雅之

地域、保護者の皆様からは「お帰りなさい！」と、歓迎の言葉を沢山いただきました。身に余る喜びに震えると同時に、その期待に応えるべく責任の重さに身が引き締まる思いです。

五年前、教務主任として関わったこの地域で、今度は「地域とともにある学校」の実現のため、全力で取り組めます。



水戸・堀原小
河原井信幸

三五年前に学校が創立し、同時に堀原地区が誕生しました。四月から学校運営協議会制度に基づきコミュニティ・スクールも始まり、地域とともにある学校づくりを目指しています。教職員、PTA、地域と協働を合い言葉に、積極的に活動を推進し、子供たちの明るい未来のため尽力しております。

歴史と伝統ある妻里小学校に赴任し、純粋で素直な一八三名の児童と学校生活を送ることができ喜びを感じております。児童の元氣なあいさつ、保護者や地域の方々の温かい協力等、すべてが私たち教職員の力となつていきます。みんなが楽しく活動し、笑顔あふれる学校づくりを進めてまいります。



水戸・内原小
鈴木 稔

明るく素直な子供たちと温かく協力的な保護者や地域の方々、熱意のある教職員が関わり合う内原小学校に勤務できますことに、大きな喜びと責任の重さを感じております。充実感・成就感に満ちた笑顔で「明日も学校に行きたい」と語る子供でいっぱい学校づくりに取り組んでまいります。



水戸・上大野小
森久美子

生き物の様子や変化に気付く児童と先生の会話は宝物です。豊かな人間関係を育む異学年交流活動。誰でも遊びや活動ができる優しさは宝物です。

ボランティア「まんまるず」の読み聞かせを心待ちにし、本の世界を楽しむ姿は宝物です。三つの宝物を大切にし、ここに育つ喜びを共有したいです。



水戸・河和田小
久地岡啓一郎

創立二四六年を迎える本校は、河和田城址に位置し、校庭には学校のシンボルとなる大いちょうが聳えています。

活気あふれる子供たち、熱心な教職員、協力的で温かな保護者や地域の方たちとともに、学校が「自分づくり」としての学びの場となるように全力で取り組んでまいります。



水戸・妻里小
濱野伸一

歴史と伝統ある妻里小学校に赴任し、純粋で素直な一八三名の児童と学校生活を送ることができ喜びを感じております。児童の元氣なあいさつ、保護者や地域の方々の温かい協力等、すべてが私たち教職員の力となつていきます。みんなが楽しく活動し、笑顔あふれる学校づくりを進めてまいります。

歴史と伝統ある妻里小学校に赴任し、純粋で素直な一八三名の児童と学校生活を送ることができ喜びを感じております。児童の元氣なあいさつ、保護者や地域の方々の温かい協力等、すべてが私たち教職員の力となつていきます。みんなが楽しく活動し、笑顔あふれる学校づくりを進めてまいります。



水戸・飯富中
久保田直人

創立七四年目の歴史と伝統、豊かな自然、素直で元氣な生徒、温かな教職員、保護者、地域に囲まれて勤務できる喜びと、責任の重さを感じています。

生徒も教職員も、明日もまた飯富中に来たいと思える学校づくりを行い、教職員と生徒の取組・活躍の姿を、保護者や地域に積極的に発信してまいります。



笠間・宍戸小
小松崎智史

明るく素直な子供たち、温かく協力的な保護者や地域の方々：ここ宍戸小学校の校長であることを幸せに思うとともにその責任の重さを痛感しています。

校章「葵」による、あ（あいさつ）お（思いやり）い（一生懸命）を大切に、教職員一丸となって子供たちの夢の実現に向けて取り組んでまいります。



笠間・大原小
新井淳子

緑と美しい花に囲まれ、歴史と伝統のある大原小学校に勤務できる喜びとともにその職責の重さを感じております。また、保護者や地域の皆様の温かいご支援に感謝する毎日です。児童が、そして教職員がそれぞれののちまえを生かし、活躍できる学校を目指し、全力で取り組んでまいります。



笠間・友部二小
矢口祐治

明るく素直な四八九名の子供たち、その一人一人を心を込めて育てる教職員、子供たちのためにと常に協力的な保護者や地域の方々に支えられている感謝と共に、その職責の重さを実感しています。学校経営目標の「明日の待たれる豊かな学校づくり」精一杯 丁寧に 心を込めて」を目指します。



ひたちなか・三反田小
中島隆行

明治六年に開校し創立一四六年を迎える歴史と伝統ある三反田小学校に勤務できる喜びとともに、職責の重さを実感しています。「かかわり合い・学び合いを通じた教育活動の展開」をスローガンに、教職員が一丸となって魅力ある学校づくりに取り組み、地域や保護者に信頼される学校経営を進めてまいります。



ひたちなか・外野小
高橋重樹

シンボルの金木犀に迎えられ、良き伝統を積み重ねている外野小学校に勤務できる喜びとともに、その職責の重さを実感しております。温かで協力的な保護者や地域の方々に支え、元気で素直な七八八名の子供たちの笑顔があふれる、魅力ある学校づくりに、教職員全員で取り組んでまいります。



常陸大宮・美和小
井上雅裕

自然豊かな環境で温かい地域と保護者の方々、そして元気で素直な子供たちに囲まれて美和の地に勤務できることを大変嬉しく思います。九七名の子供たちを「美杉のように のびのび」と素直で元気に」を目標に、私たち全職員で寄り添い見守りながら地域とともに子供たちの成長を支援してまいります。



那珂・木崎小
藤枝祥子

創立一四七年の歴史と伝統のある木崎小学校で、六六名の児童と過ごす幸せとともに職責の重さを実感しています。

今年度スローガン「つなげ」
①ながる学び・②かよく外遊び・③んきにあいさつ」を合言葉に、児童と教職員、保護者、地域がつながり、笑顔あふれる学校を目指します。



那珂・第三中
武居幸雄

「常陸野の光のなかに萌え出ずる野芝のみどり」と校歌に歌われる、豊かな自然に恵まれた第三中学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。元気あふれる生徒たち、人間性豊かで活力に満ちた教職員、協力的で温かく学校を見守ってくださる保護者・地域の方とともにチーム学校を目指します。



小美玉・納場小
八木 健

創立一四二年。明るく素直な子供たちと誠実に仕事に取り組む教職員。そして心温かな地域の方々。伝統ある納場小学校に赴任し、喜びとともに自らの職責の重さを日々感じています。

「かがやく納場っ子」の合言葉のもと、子供の良さを引き出し、子供たちが輝く学校づくりを目指して努力して参ります。



小美玉・玉里中
吉永成範

一〇年ぶりに玉里中学校へ勤務できることの喜びとともに、職責の重さを実感しております。本校は令和三年度に玉里学園義務教育学校として生まれ変わります。その礎となるように、「玉中プライドと情熱をもって、夢を現実（かたち）」をスローガンに、精一杯取り組んでまいります。



東茨城郡・常北小
松本将良

創立九年目を迎えた自然豊かな本校。明るく素直な一〇九名の児童と協力的で温かく見守ってくださる保護者や地域。専門性が高く情熱に満ちた教職員。

三つの「あい」（あいさつ・相手・I（自分））を大切にしながら、すべての児童、職員が登校することが楽しい学校づくりに全力を尽くしてまいります。



東茨城郡・青葉中
折本正巳

涸沼に代表される自然豊かな茨城町の、二つの伝統校を統合した開校六年目の学校です。

純粋で笑顔が輝く生徒、協力的な保護者や地域の方々、情熱溢れる職員に囲まれています。

生徒に温かな眼差しを向け包み込むことを土台に、しっかりと方向を指し示す力強さをもつて教育にあたっていきます。



那珂郡・舟石川小
大芝由美子

明るく素直な児童とやる気に満ちた教職員に囲まれ、保護者や地域の方々の温かい支援をいただきながら勤務できる喜びと職責の重さを感じています。子供たちが「やさしく、かしこく、たくましく」成長できるよう、明日が待たれる笑顔いっぱい学校を目指し、教職員と力を合わせて取り組んでまいります。



新会長あいさつ（鬼澤真寿会長）

県北

日立市
常陸太田市
高萩市



日立・仲町小
八重樫弘子

本校学区には新田次郎氏著「ある町の高い煙突」で知られる日立鉦山の煙突があります。先人の英知の結晶とも言える大煙突に見守られ、「子供は地域の宝」と言い切る地域の皆様、主体的にPTA活動に取り組む保護者の皆様の思いを大切に、児童一人一人の自己実現を図り、笑顔輝く学校経営に努めます。



日立・大久保小
菊地治幸

創立二四六年の歴史と伝統を誇る日立市立大久保小学校に勤務できる喜びと責任を感じています。毎朝元気にあいさつをしながら笑顔で校門を通り過ぎていく子供たち。この笑顔を絶やさぬために、そして、彼らの将来に向けての礎を確実に培っていくために、職員一丸となって取り組んでまいります。



日立・諏訪小
高橋克典

阿武隈の山々に見守られ、光り輝く太平洋を見下ろしながら、二八二名の児童の笑顔に囲まれて勤務できることに感謝するとともに、責任の重さを感じています。学校・家庭・地域の絆を大切にしながら、教職員一丸となって児童の成長を支援して、一人一人が輝く学校づくりに努めて参ります。



日立・油縄子小
古内勝紀

素直で明るい子供たち、何事にも協力し、前向きに取り組む教職員、協力的な保護者や地域の方々に囲まれて勤務できる喜びと責任の重さを感じています。一人一人の「いいとこ」を伸ばす教育を推進し、一九三名の子供たちの笑顔があふれる学校づくりに、全力で取り組んでまいります。



日立・日高小
熊谷智仁

「相田の浜から波がよぶ 神峰の山から風がよぶ」と校歌に唄われる、自然に恵まれた日高小学校に勤務できた喜びと四七五名の宝物をお預かりした責任の重さを実感しています。協力を惜しまない保護者や地域の方々に支えられ「地域とともにある学校」を目指し、教職員とともに主力で取り組みます。



日立・豊浦小
高野 都

海鷲渡来の老松樹に日は昇り、海蝕崖下の青海原に風は渡る。小貝ヶ浜の潮騒も清けき、ここ豊浦小学校初の女性校長として赴任した。子供一人一人の輝く命とその未来、地域の方々の信頼、全職員の教職人生とその情熱を預かり、社会平和の礎の重責を担う。潮香纏う千の瞳と早朝の挨拶を交わす喜びと共に。



日立・坂本小
横山 勉

創立一四七年を迎えた歴史と伝統のある坂本小学校に勤務できる喜びと、その職責の重さを実感しております。明るく元気で素直な児童たち、学校教育活動に協力的な保護者の方々、何事にも熱意をもつて取り組む活気ある教職員とともに、笑顔あふれる学校づくりに努めてまいります。



日立・平沢中
小泉 優子

映画「ある町の高い煙突」で登場する大煙突を間近に臨む、平沢中学校に勤務するのはこれで二度目です。一度目は大学出たでの講師でした。歴代校長の写真の中には、当時大変お世話になった先生方もおられます。まだまだ足下にも及びませんが、全力で引継いでまいりたいと思います。



日立・大久保中
高島 幸浩

本校は、水戸藩の郷校、暇修館が設置された地域にあります。熱意ある教職員やあたたかく協力的な保護者、地域に支えられ、「チーム」を感じながら、日々充実した勤務ができております。令和を迎えて、時代の要請を受け止めつつも、諸先輩方が築かれた道を辿りながら、精一杯職務に取り組んでまいります。



日立・河原子中
菊池 栄人

「河中エイサー」を代表とする地域密着型の教育活動を展開する河原子中学校区は、奇しくも私の母が育った場所でもあります。この「縁」を大切に、「笑顔」「考動」「感動」をキーワードに、地域・保護者・教職員が一体となつて、「二人一人が輝く学校づくり」に全力で取り組んでまいります。



日立・十王中
飯塚 浩之

「ふるさと十王を愛し、未来に向かつて、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」が、本校の教育目標です。歴史と伝統のある十王中学校に勤務できる喜びと共に、職責の重さを感じています。地域の学校として、保護者・教職員が一丸となり、生徒一人一人を大切にされた学校づくりに尽力してまいります。



日立・日立特別支援
小泉 功

歴史と伝統あるこの日立特別支援学校に勤務できることを幸せに感じています。小・中・高等部があり、一四四名の児童生徒の自立と社会参加をめざし、日々の教育に取り組んでいきます。本校は、県内唯一の市立の特別支援学校として、センター的役割を果たしながら、地域に根ざした教育を進めていきます。



常陸太田・西小沢小
阿部 裕美

朝、笑顔でハイタッチ。明るく素直な五八名の子供たち。やる気に満ちた教職員。心温かな保護者と地域の方々。この喜びと感謝の日々を、守り続ける責任の重さを感じています。子供たちの可能性を信じ、寄り添い、子供たちの今の活動が未来へ「つながる」学校づくりを進めてまいります。



常陸太田・誉田小
石川 尚子

毎朝、元気な子供たちとあいさつを交わすことから一日が始まり、喜びとともに職責の重さを実感しています。保護者、地域の皆様のご支援をいただきながら、子供たちが将来へ向けての夢を育めるよう「一人一人のよさを認め合い、笑顔と感動のある学校」づくりに全職員一丸となつて取り組んでまいります。



常陸太田・金砂郷中
菊池 浩之

北中学校と南中学校が統合され、新生「金砂郷中学校」として生まれ変わり、今年で創立五年目を迎えました。今年度は、「支えあい・学びあい・鍛えあい」愛あふれる学校の創造」を学校教育の基本方針として掲げ、優しさと思いやりの心に満ちた生徒の育成に、全職員一丸となつて邁進いたします。



常陸太田・水府中小
田所俊哉

小中一貫校として二年目を迎え、一二月末の新校舎完成を待ちわびる水府小・中学校に、校長として勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。

全校児童生徒一五六名の小規模校ならではのよさを最大限に生かし、全職員一丸となり、保護者や地域から信頼される学校づくりを進めてまいります。



高萩・秋山小
関根紀夫

創立一四六年を迎える、歴史と伝統のある秋山小学校に勤務できたことに、身の引き締まる思いです。児童三二六名と教職員二二名の最高責任者として責任の重さを感じています。

コミュニティ・スクール二年目となり、学校運営協議会と連携し、地域とともにある学校づくりを一層推進してまいります。

県 東

鹿嶋市
神栖市
鉦田市
潮来市



鹿嶋・中野西小
浅野典子

北浦の湖岸沿いに位置し、豊かな自然に恵まれた環境にあるこの中野西小学校に勤務できる喜びと職責の重さを日々実感しています。温かく学校を支えてくださる地域や保護者の皆様。「一人一人が輝く中野西」を経営方針のもと、豊かな感性を育て、たくましく生きる児童の育成に取り組んでまいります。



鹿嶋・高松中
宮内芳孝

新採として赴任した鹿嶋市に再びお世話になっております。本校も二度目の勤務となり、当時生徒だった子供たちが、立派に親となつて活躍している姿をみて、とてもうれしい毎日を過ごしています。生徒数は当時の三分の一ですが、笑顔と感動は三倍を目指していきたいと決意を新たにしました。



神栖・軽野小
糸川義明

元氣いっぱいの子供たち、熱意あふれる職員、協力的で温かい保護者や地域の皆様に支えられ、歴史と伝統のある軽野小学校で勤務できる喜びとともに、責任の重さを実感しています。「豊かな心とたくましく生きる力をもった児童の育成」の実現を目指して、全職員一丸となつて取り組んでまいります。



神栖・太田小
森作浩子

明治一八年創立の本校は、神栖市の中ほどに位置する、自然豊かで、地域の方々に温かく見守られている学校です。運動会の練習で校庭に響き渡る元氣な歌声に、太田の子の伸びやかな心の現れと感動しています。子供たちの健やかな成長のために、職員の力を結集し全力で学校経営に取り組みます。



神栖・やたべ土合小
谷田川浩之

統合二年目のやたべ土合小学校に赴任し、元氣いっぱい児童、やる気に満ちた教職員、温かい保護者や地域の皆様との出会いに心から感謝するとともに、職責の重さを痛感する毎日です。「毎日がわくわくドキドキするきずなづくり笑楽校」を目指し、全職員一丸となつて真摯に取り組んでまいります。



神栖・須田小
坂上有紀

創立一四四年の伝統を紡ぐ須田小学校に赴任し、新たな時代を生き抜く力を目の前の子供たち一人一人に育むことへの職責の重さを感じています。はじめに子供ありきを合い言葉に、子供たちが明日も学校に行きたいと思える学校づくりに向け、保護者や地域とスクラムを組み全力で取り組んでまいります。



神栖・波崎二中
山野 稔

素直で明るい生徒たち、深い愛情で関わっている教職員、「おらが学校」という心持ちで学校を信頼し、協力してくださる保護者や地域の方々に囲まれ、勤務できることに、感謝とともに責任の重さを感じています。「磨き合い、響き合い、高め合うチーム波二」を合い言葉に教育活動を展開してまいります。



鉾田・白鳥東小
木下 健

四年前に教務主任として勤務した白鳥東小学校に学校長として勤務することとなり、喜びと責任の重さを感じています。

「児童一人一人のよさを認め、自信と夢をもたせる」という経営方針のもと、子供たちが「今日も楽しかった、明日も笑顔で登校しよう。」と思える学校づくりを全職員とで進めてまいります。



潮来・潮来二中
若松裕一

本校は豊かな自然の中で、地域に守り支えられてきた伝統ある学校です。また、私が新採時代に多くを学んだ学校・地域であり、再び勤務できる喜びと責任の重さをかみしめています。

校訓「たくましく前進」のもと、生徒のよさや可能性を最大限に引き出し、笑顔あふれる幸せな学校づくりを目指します。

県南

- 土浦市 稲敷市
- 石岡市 かすみがうら市
- 龍ヶ崎市 つくばみらい市
- 取手市 稲敷郡
- 牛久市
- つくば市
- 守谷市



旧役員の皆様 お疲れ様でした



土浦・都和小
菊池良平

新学習指導要領完全実施を目前に、歴史と伝統のある都和小学校に勤務することに、職責の重さを実感しています。

未来を創る子供たちのために全職員、保護者、地域の方々が一丸となれる学校を目指します。職員のために、皆様からの御助言を受けながら働き方改革にも取り組んでまいります。



土浦・上大津東小
稲田弘之

一三〇年の歴史ある上大津東小学校に赴任することができ光栄に思うとともに、その職責の重さを感じております。

元気で優しく素直な上東小の全ての子供たちが、未来を生き抜く力を身に付け、幸せになれるように、学校と保護者・地域が協働し「チーム上東」として日々の教育活動に取り組んでまいります。



土浦・上大津西小
山口和行

本校は創立二二七年、古の時代には手野城が築かれた由緒ある土地にあります。しかし、残念ながらその伝統に終止符を打つ年となりました。児童や保護者、地域の皆様の思いを受け止め、「次につながる一年」となるよう、チーム上西一丸で四六人の子供たちの良さを伸ばす教育を推し進めてまいります。



土浦・土浦一中
酒井宏之

寛政十一年（一七九九年）、土浦藩の藩校として開校した郁文館。その志を継承し、土浦第一中学校が設立されました。今年で創立七三周年を迎える、歴史と伝統のある学校です。

「一人一人が一中生であることに自覚と誇りを持ち、自分のよさを発揮できる学校」を目指し、全職員で推進していきます。



土浦・土浦二中
鶴田由紀子

高台に立つ本校からは、遮るもののない広い空と遠く広がる霞ヶ浦が臨めます。地域の皆様に深く愛され、歴史と伝統のある土浦第二中学校に勤務できる喜びと職責の重さを、生徒への愛情に代え、教職員と共に「感動・夢・希望」あふれる学校づくりに努めます。全ては、四〇八名の生徒たちのために。



土浦・土浦五中
富島 進

土浦五中の学区には常磐線神立駅や最新の医療設備を備えた土浦協同病院があります。上大津地区は霞ヶ浦のレンコンづくりを担っています。生徒四五〇名が、地域の伝統と文化を大切にして日々の学校生活を送っています。

生徒にとって明日が待たれる学校づくりに全職員と取り組みたいと考えています。



石岡・三村小
田中康之

筑波山・霞ヶ浦を臨む豊かな自然、歴史と伝統をもつ本校に勤務できますことに喜び、そして職責の重さを感じております。また、「心身ともにたくましく『生きる力』をもつ児童の育成」を目指します。教職員が一つとなり、保護者・地域の協力を仰ぎ、安全安心で楽しい学校づくりを推進してまいります。



石岡・東成井小
岡祐己子

二本の大きな銀杏の木、太郎と次郎のもとで、地域の愛に育まれる成井つ子。伝統ある東成井小学校に赴任した喜びと、学校経営の重責を感じています。子供たちの笑顔と、元氣あふれる「おはようございます」がいつまでも続くよう、職員・保護者・地域と手を取り合い、一日一日を大切にがんばります。



石岡・葦穂小
高橋浩之

自然豊かな環境、温かな思いで学校を支えてくれる保護者や地域の方々、そして、元氣な子供たち。このような本校に赴任することができ、喜びとともにその職責の重さを感じております。学校・家庭・地域の絆を大切にし、子供たちの健やかな成長を教職員一丸となって支援してまいります。



龍ヶ崎・大宮小
渡邊真史

創立一四四年の歴史を持つ、伝統ある大宮小学校。非常に協力的な地域の皆様に見守られ、すくすくと育つ児童と、常に前向きな職員とともに、毎日充実しながらも緊張した日々を送っています。「笑顔いっぱい」の学校を目指すとともに、安心・安全な学校づくりを実現します。



龍ヶ崎・八原小
古島 正

「希望は強い体から 未来は強い心から」私の好きな校歌の一節です。行事や集会で明るく力一杯歌う児童の姿に、いつも感激しています。本校教育目標である「一人一人を生かし、創造力に富み、心豊かに、たくましく生きる子ども」の育成を目指し「チーム八原」を合い言葉に頑張ります。



龍ヶ崎・川原代小
山田岳男

毎朝正門前では「おはようございます。」という子供たちの元気な声が響き渡っています。天気が良いと富士山を望むことができる創立一三一年の本校に勤務できることに喜びを感じております。七〇名の児童のために、職員とともに力を合わせて、楽しく元氣で笑顔あふれる学校づくりに努めてまいります。



龍ヶ崎・城ノ内小
斗沢孝浩

平成一三年に開校した本校の教育目標は「自ら学び、自ら考え、心豊かにたくましく生きる児童の育成」です。熱意に満ちた職員とともに、「自ら」を合い言葉に児童主役の活動を推進し、職員一人一人がよさを發揮して、児童も職員も楽しいと実感する学校づくりに精一杯努力してまいります。



龍ヶ崎・長山中
宮本浩貴

「長山プライド」をもって日々生活する生徒たち、温かく丁寧に対応する教職員、支えてくださる保護者や地域の方々。長山中学校に赴任できた感謝とともに重責を感じております。生徒の夢や希望の実現に向けた学校づくりのために、教職員一体となって「生徒本位の教育活動」を推進してまいります。



取手・取手東小
黒羽 勉

取手東小学校は、吉田小、小文間小、井野小の三校が統合されて開校し、五年目を迎えました。四七七名の児童と五二名の教職員、保護者や地域の人々とともに、「楽しい学校」「成りたい自分になる」を合い言葉に、新たな伝統づくり、魅力ある学校づくりに全力で取り組んでまいります。



取手・永山小
浅野英司

歴史と伝統のある永山小学校で、元氣あふれる子供たちとチームワークの良い教職員に囲まれ勤務できる喜びと、職責の重さを痛感しています。未来に向かって学び続け、たくましく生きる児童の育成を目指し、「一歩前進 みんな笑顔」をスローガンに「チーム永小」で取り組んでまいります。



取手・高井小
宮内孝浩

創立三八周年目を迎えた本校は、周辺の開発とともに児童数が毎年増加している学校です。そのような中、学校、保護者、地域が一体となって学校づくりを進めています。保護者や地域の皆様の支援に感謝するとともに、子供たちが「学校が楽しい」と実感できるような学校を目指し日々努めてまいります。



取手・宮和田小
廣田晴彦

本校は、自然豊かな住宅街の中にあり、地域に支えられて発展してきました。元気で素直な児童の授業や行事への取組には、すばらしいものがあります。「令和」の時代を互いに心を寄せ合い、子供たちが夢を語り合える時代にし、自ら時代を切り拓く気概をもてる子供たちを育てていきたいと思えます。



取手・桜が丘小
福井朱美

校長室から見える校庭では、元気に遊ぶ子供たち。地域や保護者の方々の温かい励ましに支えられた桜が丘小に勤務できることに喜びを感じております。「いきいきと学び 心豊かな桜つ子」をスローガンに、子供も職員も「学び合い」ながら、一人一人を大切にしている学校づくりに尽力してまいります。



取手・永山中
杉野敦史

今年で七三年を迎える永山中学校には三度目の赴任となります。学級担任、教頭、そして校長として二年目の勤務ができることに心から喜びを感じます。今年度のテーマ「飛躍」のもっと新しい時代「令和」をたくましく生きる力を育み、生徒のよりよい成長のために、教職員一丸となって取り組んでいきます。



取手・戸頭中
栗原繁則

開校四四年目の伝統ある戸頭中学校に勤務し、大きな喜びとその責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。一人一人が輝く学校づくりを目指し、今年度のキーワードを「成」としました。挑戦・努力・達成を積み重ね、活力ある学校創りを推進するために、一丸となって取り組んでいきます。



取手市・藤代南中
高橋茂夫

八年ぶりに藤代南中学校に戻り、以前と変わらず素直できちんと話が聞ける子供たちとの出会いを大切にしていきたいと思っております。保護者や地域の方々のご支援を賜りながら、校訓「やさしく・かしこく・たくましく」生きる生徒の育成に教職員一丸となって取り組んでまいります。



牛久・牛久小
山口裕司

牛久小学校は、明治五年からの歴史と伝統があります。北に筑波山を望む牛久沼近くに位置し、河童の絵で知られる日本画家・小川芋銭の母校です。牛久市の謳う一人残らず質の高い学びの保障ができるよう、校長として、児童四四八名の笑顔と喜びを目指し、児童や保護者、地域の期待に応えていきます。



牛久・岡田小
大竹敦子

明るく元気な児童、愛情をもって真摯に児童と向き合う教職員、温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられ、歴史と伝統のある岡田小学校に勤務できる喜びと、職責の重さに身を引き締めしております。「児童一人一人に寄り添い、学びの質を高め、信頼される学校づくり」に全力で取り組んでまいります。



牛久・奥野小
前原 仁

自然に恵まれ、地域の方々から愛されている奥野小学校に勤務させていただくことに、喜びと責任の重さを感じています。子供たちの明るい未来のため、地域の方々と協働しながら特色ある教育活動を推進するなど、魅力ある学校づくりに、職員とともに取り組んでいきたいと思えます。



牛久・牛久二小
浅野尚子

一年生の下校時は、見守りサポーターが児童数を超える牛久二小。「置かれた場所で咲く」覚悟で赴いた地は、地域ぐるみで子供と学校を支える温かな場所でした。その支援と期待に応えられるよう、一人残らず質の高い学びを保障する学校づくりに努めます。己が咲くのではなく、子供の開花と結実のために。



牛久・中根小
柚木寛文

田園風景と新興住宅地が融合する街に中根小学校があります。児童数二〇〇人を超える大規模校だからこそ、一人一人を大切にす意識を高くもたなければと肝に銘じています。

すべての子供たちのために「笑顔あふれる楽しいさっぱい」の学校づくりを目指して、全力で取り組んでまいります。



牛久・下根中
本橋和久

昭和五七年の開校以来豊かな学校文化を醸成してきた本校での勤務に喜びと責任を実感する毎日です。仲間と学びを深める授業、創意溢れる行事や部活動、自分と向き合う黙働清掃、地域の惜しみない協力。この環境の中で全ての生徒が自分の力で幸せになれるよう支援していきます。



つくば・並木小
齋藤信一

本校は創立四二年。目の前に並木公園が広がります。「桜並木学園」の名のごとく、桜の風が吹く中、児童数四〇〇名で今年度がスタートしました。

子供たちがますます「元氣いっぱい、笑顔いっぱい」になるように、職員が「先生になってよかった。」と思えるように、学校づくりを進めます。



つくば・真瀬小
柳下英子

創立二四二年の歴史ある本校で学ぶ一六一名の児童と心温かな保護者・地域の方々との出会いに感謝すると同時に、職責の重さを実感する毎日です。児童の幸せのために関わる全ての教職員にやりがいを感じられる職場を、そして、学校・家庭・地域が一体となり、笑顔あふれる学校を創ります。



つくば・沼崎小
梅田英世

創立一四三年という伝統ある学校に勤務できることへの感謝の気持ちとともに、責任の重さを実感しています。

「自己を磨き夢の実現を目指す児童生徒の育成」の学園目標実現のために、九年間を見通した教育活動の一つ一つ積み上げ、笑顔あふれる沼崎小学校をつくっていきます。



つくば・上郷小
藤井周哉

歴史と伝統のある上郷小学校に勤務できる喜びとともに職責の重さを日々感じております。明るく元氣な二七九名の児童、熱意をもった教職員、熱い思いで応援してくれる保護者や地域の皆様に支えられながら教育活動を進めています。これから夢と感動にあふれた学校づくりを精一杯取り組んでまいります。



つくば・二の宮
伴 早苗

緑豊かな洞峰公園に隣接し、地域や保護者の方々力強い支援をいただきながら子供たちが伸び伸びと生活している本校に勤務できることに喜びを感じております。

「笑顔あふれる楽しい二の宮小学校」を目指し、信頼される学校づくりに取り組んでまいります。



つくば・松代小
皆川正美

つくば市立松代小学校に勤務できることに喜びを感じるとともに、責任の重さに身が引き締まる思いです。「すべては子供たちのために」を合い言葉に、子供たちが安全に、そして楽しく通える学校づくりを目指して、教職員一丸となって、チーム松代で全力で取り組んでまいります。



つくば・荃崎一小
富田昌生

本校は樹齢数百年の「しいの木」に見守られ、子供たちが日々元気に生活しています。

今年は、「チャレンジ」を合い言葉に、様々な活動に積極的に挑戦していくことを学校の目標としました。挑戦することを通して自分の新たな可能性を見出し、自信をもってたくましく生きていく力を培ってまいります。



つくば・荃崎二小
唯根りか

創立から一四六年、水と緑の豊かな自然と、地域の方々の深い愛情に見守られてきた荃崎第二小学校に勤務できること、感謝の気持ちでいっぱいです。子供たち一人一人のよさが輝き、教職員がやりがいを感じ、保護者の皆様が安心できる、笑顔あふれる学校づくりに全力で取り組んでまいります。



つくば・桜中
富田 竜夫

六三年の歴史を誇る桜中学校に勤務できることに感謝いたします。「桜学園」は伝統の下、進取の精神を実行している学園です。「夢・感動への挑戦！桜SPIRIT!」をスローガンに、本気・本腰そして本物の教育を目指し、期待に応える学校づくりを推進していきます。



つくば・高崎中
宮本 智雄

創立三四年を迎える、つくば市立高崎中学校に赴任できた喜びと、職責の重さを実感する毎日です。

「ともに学び、心豊かに二一世紀をたくましく生きる社会力をもった子どもの育成」を目標に、教職員一丸となり、全校生徒三〇〇名の夢の実現に向けて、精一杯取り組んでまいります。



つくば・竹園東中
根本 智

今年で創立四六年目を迎える竹園東中で、可能性に満ちた六〇八名の子供たちと共に過ごせることは大変な喜びであり、重責でもあります。「竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成」を掲げ、夢と誇りをもって、共に学び共に育つ楽しい学校づくりに全力で取り組んでまいります。



守谷・大野小
秋山 利夫

多くの方に支えられ、鍛えられたこと全てを校長としての赴任先である守谷市及び大野小学校で発揮していく所存です。創意ある学校づくり・児童一人一人に寄り添う教育活動・教職員を育てること等々、課題はたくさんあります。日々肅々とこれらの課題解決に当たってまいります。



守谷・御所ヶ丘小
成井 紀英

本校では、三三九名の元気一杯な子供たちと、子供たちに負けず頼もしい三〇名の教職員が、素敵な笑顔で、美しい花一杯の、元気な歌声あふれる学校で生活を送っています。

一人一人が主役になれる様々な活動を通して「たくましく生きる力」を育んでいけるように、日々全力で取り組みます。



守谷・松ヶ丘小
中野 比呂志

「子育て王国もりや」実現に向けた学校教育改革を本格的にスタートした守谷市の松ヶ丘小学校に勤務できる喜びと職責の重さを痛感しております。協力的な保護者や地域の方々との連携を大切にしながら、活力のある教職員とともに、「子供の幸せ」の実現を目指し全力で取り組みます。



稲敷・高田小
金田 正浩

旧江戸崎町の南東に位置し、明治九年創立、一四三年の歴史と伝統を誇る学校です。

二三名の職員、一三二名の児童、保護者並びに地域の皆様 の力を集結させ、「入学してよかった、入学させてよかった、勤務できてよかった」と心から思える学校づくりを進めてまいります。



稲敷・浮島小
山本 哲也

豊かな自然に囲まれた本校は、地域に支えられ長い歴史を積み重ねてきた歴史のある学校です。明るく素直な児童六二名が、学習や行事に一生懸命に取り組むこの素晴らしい浮島小学校に勤務できる喜びを日々感じています。児童を大切にしている職員と共に、子供たちの笑顔あふれる学校づくりに全力で取り組みます。



稲敷・新利根中
根本 千勝

明るく、心優しい生徒と温かい保護者と地域の方々に囲まれて勤務できることに、喜びと重責を感じる毎日です。

前校長先生の教育理念「チャレンジ」を継承し、「自分で、自分たちで」を加え、生徒と教職員が共に創り上げる新利根中学校を目指して、学校経営に努めていきたいと考えております。



かすみがうら・新治小
古山 正之

創立一四四年の歴史と伝統のある、そして、協力的な保護者と地域の方々に囲まれた新治小学校に勤務できる喜びとその職責の重さを感じております。「一人一人が輝く学校づくり」を目指し、生き生きとした笑顔あふれる学校をつくれるよう教職員・保護者・地域と一体となつて取り組んでいく所存です。



かすみがうら・上佐谷小
藤田雅久

きょうだいのように仲のよい子供たち。学校に協力を惜しまない保護者・地域の方々。ホタルが飛び交う豊かな自然。そのような学校に勤務できる喜びとその責任の重さを感じています。



つくばみらい・小張小
田上和久

旧跡「小張城址」に聳える小張小学校は、創立一三五周年を誇る地域に根ざした学校です。四月一日、白鷺が飛び立つような美しい校舎と校庭いっばいの桜を迎えられ、心新たに第一歩を踏み出しました。保護者・地域の皆様と手を携え、令和の時代にふさわしい笑顔と感動に満ちた学校づくりに精励します。



つくばみらい・谷井田小
高畑 健

創立一三三年の歴史と伝統ある谷井田小学校に赴任できた喜びとともに、職責の重さに身が引き締まる思いです。「その時、その場で、全力でがんばり、今日も一日楽しかった。」と、子供たちが思える学校づくりに、地域の皆さんの力を借りながら、全教職員で一杯取り組んでまいります。



つくばみらい・豊小
浅野正樹

小貝川沿いに広がる田園地帯にある本校は、創立二三年を迎えます。明るく素直な二五名の児童は、保護者や地域の方々に温かく支えられています。小規模校の強みを生かし、一人一人のよさを引き出しながら「自ら伸びようとする子どもの育成」を目指して、職員とともに全力で取り組んでまいります。



つくばみらい・谷原小
川村勝司

新採として勤務した谷原小学校に、校長として再度勤務することになりました。当時の子供たちが、親として頑張っている姿に接し、大きな喜びと、その職責の重さを実感しております。



つくばみらい・十和小
稲野邊緑

十和小学校に赴任し、素直で明るい子供たち、協力的で熱心な保護者、いつも温かく応援してくださる地域の方々、そして熱意あふれる職員との出会いに感謝するとともに、その責任の重さを実感しております。子供たちが「笑顔で元気に登校できる学校」づくりに、職員一丸と



稲敷郡・阿見一小
松本浩一

明るく素直な子供たち、熱意のある教職員、協力的な保護者や地域の方々に囲まれた阿見第一小学校に勤務できる喜びと、責任の重さを感じております。「明日に 未来に 生きる力の育成」を目指し、子供たちにとって楽しいと思える学校づくりに、地域と共に全職員一丸と



稲敷郡・阿見二小
原 秀樹

素直で明るく元気な一八五名の子供たち、熱心で心温かな教職員、協力的な保護者や地域の方々に迎えられ、喜びとともに職責の重さを日々感じていきます。「主体的に学び、心やさしくたくましい児童の育成」を目指し、教職員が一丸となり、笑顔あふれる学校づくりに全力で取り組んでまいります。



県
西

古河市
結城市
下妻市
常総市
筑西市
坂東市
桜川市
猿島郡



古河・古河四小
桑原敬明

創立二二九年の歴史と伝統ある古河第四小学校に着任し、その責任の重さに身の引き締まる思いです。児童四八七名の笑顔のためにも、保護者や地域の方々から力強いご支援をいただきながら、「明るく、楽しい、きれいな学校」のローガン実現に向け、全職員一丸となり取り組んでまいります。



古河・古河七小
真中光男

明るく元気な子供たち、真摯に取り組む教職員、協力的な保護者や地域の方々に支えられた古河七小に勤務できる喜びとともに職責の重さを感じています。五三七名の子供たちが、笑顔あふれる楽しい学校生活を送り、地域に根ざした魅力ある学校づくりができるよう、努めてまいります。



古河・駒羽根小
長瀬裕二

素直で表情豊かな子供たち、愛情をもって子供に向き合う教職員、協力的で温かい保護者と地域。この地で勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。「全ては一人一人の子供のために」を合い言葉に、誰もが「今日が楽しく明日が待ち遠しい学校」と思えるような学校づくりに取り組んでまいります。



古河・諸川小
成田 昭

生き生きと活躍する児童の育成を目指し、精一杯教育活動に邁進する熱心な教職員に支えられて、子供たちは日々望ましい成長を遂げています。常に学校を支え協力的な保護者・地域の皆様の期待に応えられるよう、今後も、児童一人一人が輝く活力ある学校づくりを推進していきたいと思えます。



古河・総和北中
佐藤浩二郎

素直で明るい生徒、熱心に取組む先生方、協力的な地域・保護者の皆様に迎えられ、歴史と伝統ある総和北中学校に勤務できますこと、校長としての職責の重さを痛感しております。学校教育目標「豊かな心を持ち、夢に向かって主体的に行動できる生徒の育成」を目指して、精一杯努力してまいります。



結城・江川南小
中澤千佳子

明治七年の創立以来、多くの方々に愛され、地域と共に歩んできた江川南小学校に勤務できる幸せと職責の重さを実感しています。「全職員が全児童の担任」を合い言葉に、地域の宝である子供たちが安心して学び、笑顔で過ごせる学校をつくるため、全力で取り組んでまいります。



古河・上大野小
網川真理

創立一三九年を迎える上大野小学校に、地域の方々は大きな期待と信頼を寄せてくださっています。校長として、この地域で勤務できる喜びと責任を感じています。それに応えるため、「全員で かがやく」を合い言葉に、全力で子供たちの輝きをサポートできるチームづくりを目指してまいります。



古河・水海小
蛭原啓子

素直で元気な一八九名の児童前向きで熱心な教職員、温かく支えてくださる地域の皆様や保護者。豊かな自然に囲まれた素晴らしい環境。この地に赴任した幸せと責任の重さを感じています。「二人一人が夢をもち、夢を育む楽しい学校」を目指して、「チーム水海」のリーダーとして、頑張りたいと思えます。



古河・駒込小
横濱元己

創立二二七年の歴史と伝統ある駒込小学校に赴任できたことを心から感謝しています。本校の校章は、金の桜花の中央に銀の星が象られ、一人一人の児童が力強く輝く姿を象徴しています。よりたくましく、自分の夢に向かって邁進する児童の育成を学校・家庭・地域の方々と共に取り組んでまいります。



結城・江川北小
綿引英樹

創立二三年目を迎え、本校では、一五九名の児童が元気に学んでいます。「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」を目標に、保護者や地域の方々と連携・協働して日々の教育活動を行っています。また、「全職員が全児童の担任」として、微に入り細に渡り子供たちのために努力していく所存です。



結城・城西小
小河原泰彦

素直で明るい子供たち、誠実に職務に取り組む教職員、協力的な保護者や地域の皆様などに、喜びと共に校長としての職責の重さを感じております。「共に学び 進んで挑戦 思いやりいっぱいの子」の育成を目指し、教職員で協力し、全力で取り組んでまいります。



下妻・総上小
深谷ゆかり

創立一三〇年の歴史と伝統を誇る総上小学校に、新任校長として勤務できることをうれしく思うと同時に、その職責の重さを日々実感しています。

明るく素直な子供たち、前向きで熱心な教職員、そして温かく協力的な保護者や地域の方々と共に、笑顔あふれる学校づくりに取り組んでまいります。



下妻・千代川中
中村竜雄

広々とした田園地帯にある本校は、素直で明るい生徒二四四人の中学校です。一人一人を大切にした教育活動を基盤に、「すべての努力は、笑顔のために！」を合い言葉としています。日々、楽しく充実した仕事ができることに感謝し、職員一丸となって温かい思いやりあふれる学校づくりを目指します。



常総・大生小
秋葉光博

今年度の学校教育目標は「人を大切にする学校づくり」です。まずは自分自身が、教職員・児童・保護者を大切にして学校経営を行いたいと思います。また、自分が今まで担任した五二二名の子供のうち九名が亡くなっています。その悲しみを繰り返し返さないためにも命を大切にする学校経営を行ってまいります。

豊かな自然、素直な子供たち、誠実な教職員、温かな保護者や地域の方々に囲まれ、伝統ある大花羽小に勤務できる喜びとともに、職責の重さを痛感しております。



常総・大花羽小
所美由紀

子供たち一人一人の「えがお」が輝く学校づくりに、教職員一丸となり精一杯努力してまいります。



常総・菅原小
青木 昇

歴史と伝統のある菅原小学校は、大生郷天満宮の梅香る素晴らしい環境の学校です。素直な子供たち、協力的な地域の方々に囲まれた学校に赴任した喜びと責任の重さを感じています。「笑顔いっぱい・夢いっぱい」を合い言葉に教職員が一丸となつて活気あふれる学校づくりに取り組んでまいります。

創立一三二年、歴史と伝統のある豊岡小学校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。



常総・豊岡小
松田隆男

本校教育目標の具現化に向けて、保護者・地域の皆様との連携を深め、全教職員の心を一つにして、「子供が今日学校に来てよかった」と実感できる場づくりに取り組んでまいります。



常総・岡田小
針谷 武

とても明るく元気なあいさつができる三二八名の子供たちが、常に前向きに取り組む教職員、そして、温かく協力を惜しまない保護者や地域の方々。一三〇年の歴史と伝統ある岡田小学校に勤務できる喜びと責任の重さを感じています。子供たちが楽しく生き生きと学べる学校づくりに全力で取り組みます。

歴史と伝統のある豊田小学校に赴任でき、喜びと職責の重さを実感しております。明るく素直な子供たちと協力的な保護者や地域の方に支えられ、「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい みんななかよし 豊田小」のスローガンのもと、子供たち一人一人が輝く学校づくりを全職員で推進してまいります。



常総・豊田小
飯塚敏夫

明治六年創立の歴史と伝統のある中小学校に赴任し、喜びとともにその職責の重さを感じています。明るく素直な子供たち、誠実で力のある教職員、熱心で学校のために協力を惜しまない保護者・地域の方々を手を携え、「夢と生きる力を育む魅力ある学校」づくりに全力で取り組んでまいります。



筑西・伊讚小
栃木由香

創立一三二年の歴史と伝統ある伊讚小学校に赴任し、元気いっぱいの一五三名の子供たち、温かな保護者や地域の方々、熱意ある教職員に出会えたことに喜びとともに責任を感じています。

地域の宝である子供たちのために、「チーム伊讚」一丸となり、「思いやりいっぱい伊讚の子の育成」を目指してまいります。



筑西・中小
杉本尚志

明治六年創立の歴史と伝統のある中小学校に赴任し、喜びとともにその職責の重さを感じています。明るく素直な子供たち、誠実で力のある教職員、熱心で学校のために協力を惜しまない保護者・地域の方々を手を携え、「夢と生きる力を育む魅力ある学校」づくりに全力で取り組んでまいります。



筑西・関城東小
藤田忠弘

学区内の中学校に勤務した当時の関係者や教え子が地域住民として支えてくださっている小学校に勤務できる縁に感謝しています。また、責任も感じて

います。児童が夢や目標に向かって、笑顔で感動できる学校づくりに向け、職員と共に全力を尽くしてまいります。



筑西・村田小
宮田克己

眼前に筑波山を望み、歴史と伝統のある村田小学校に勤務できることの喜びと、職責の重さを痛感しております。

「楽しく学び自分の力を伸ばす児童の育成」を目指します。教職員一丸となり、保護者・地域の協力のもと、安全安心で、楽しい学校づくりに全力で取り組んでまいります。



筑西・長讃小
入山克巳

筑波山麓、長讃の森には今日も鳥たちのさえずりと子供たちの笑い声が響きわたっています。地域に愛され一四六年の歴史ある本校の責任者として、その職

責の重さを日々実感しています。九九人の子供たちの明るい未来のために、全職員が力を合わせて、一人一人の個性を伸ばし輝かせていきたいと思えます。



筑西・古里小
柳田高志

ダイヤモンドの原石のように素直で明るい一二六名の児童情熱と愛情をもって児童に向き合う教職員、物心両面にわたり熱心に応援してくださる保護者や地域の方々。この素晴らしい

出会いを大切に、「里の子」たちが、高い志をもち、幸せな人生を歩むことができる力を育てるよう、全力を尽くします。



坂東・逆井山小
稲葉伸一郎

風薫る猿島野、桜木立に囲まれた本校。創立一四〇年の歴史と伝統ある本校に勤務できたこ

とに、喜びとともに責任の重さを実感しています。素直で元一杯の子供たち、熱意ある教職員、協力的で温かい地域の方々とともに、「夢を見だし、夢を育て、夢のために頑張れる学校」を目指してまいります。



坂東・内野山小
沼田洋子

素直で明るい五二名の子供たち。愛情をもって児童に寄り添う教職員。協力的で温かな保護者や地域の方々。このすばらしい出会いに感謝するとともに、

職責の重さを感じております。「今日が楽しく、明日が楽しいな内野山小学校」を合い言葉に、笑顔あふれる学校づくりに取り組んでまいります。



桜川・猿田小
田部井悦子

いつも応援をくださる地域。心強い協力者である保護者。頼もしい職員。豊かなこのふろさとで、一人一人がすすくと育つ小規模校ならではの教育活動

を力を合わせて展開したい。校長も夢を語る猿田小学校です。だからこそ子供たちの笑顔を守り、精一杯努力し続けます。



桜川・谷貝小
上坂仁志

創立一四六年を迎える歴史と伝統のある谷貝小学校に勤務できる喜びとその職責の重さを感じています。

児童一人一人にとって、楽しく魅力のある学校となるよう職員一同、保護者、地域の皆様と共に「チーム谷貝」として全力で教育活動に取り組んでまいります。



猿島郡・猿島小
飯田政子

二二三名の素直で元気な子供たちと意欲にあふれ前向きな教職員、温かく見守ってくださる保護者や地域の方々との出会いに感謝するとともに、職責の重さを実感しています。

「㊦わやかあいさつ、㊧つかり運動、㊨じめに学習」を合い言葉に、活力ある学校づくりに全力で取り組んでいきます。



猿島郡・静小
関塚 滋

「令和」という新しい時代に校長という新しい役割を担うことになり、全力で、学校教育目標の実現と夢を育み、夢に近づくための教育に努力します。

そのために、一人一人のよきを見つけ生かし、学び合う教育活動の実践から、それぞれが輝けるような学校づくりを、地域とともに推進してまいります。

再任会員名簿

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.
神栖市		鹿嶋市		北茨城市		日立市		久慈郡	那珂市	常陸大宮市	ひたちなか市	笠間市		水戸市		郡市名
波崎第三中	鹿野中	鹿島小	波野小	精華小	石岡小	助川中	櫛形小	南中	第四中	第二中	田彦中	稲田中	第二中	第一中	常磐小	学校名
大塚 秀一	原田 純一	山口 久弥	内野 輝彦	小松 昭徳	湯原 深雪	折笠 良平	勝間田忠彦	佐藤 洋彰	増田 忠廣	菅又 章雄	橋本 清文	海老原 誠	稲野邊 親	川俣 智	板橋 幸子	氏名

33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	No.
桜川市		坂東市	筑西市	下妻市		古河市			つくば市		取手市	石岡市	土浦市	行方市	鉾田市	鉾田市	郡市名
桜川中	岩井第二小	岩井第一小	下館中	下妻中	下妻小	総和中	総和中	古河第二中	高山中	桜南小	取手小	国府中	石岡小	新潟学園義務	北浦小	鉾田南小	学校名
田嶋 貴子	後藤 昌範	栗原 恵子	福田 幸一	飯村 晃	酒寄 亨一	森田 泰司	吉田 浩康	佐山 順一	斉藤隆一郎	和田 雅彦	小林 幸典	金子 英信	長谷川真人	栗原 純一	武田 民弥	村田 武彦	氏名

(敬称略)



令和元年度 学校長会役員

- 会長 鬼澤 真寿(水三の丸小)
- 副会長 小野瀬繁子(水三第二中)
- 副会長 塚本 秀樹(日助川小)
- 副会長 安原 優(鉾田南中)
- 副会長 土田十司作(ついで木中)
- 副会長 田沼 政志(筑下館小)
- 監事 久保智佳子(水等原中)
- 監事 富山 明子(日中小路小)
- 監事 狩野 秀彦(鉾田北小)
- 監事 吉原 憲夫(ついで木中)
- 監事 柴山 聖徳(桜雨引小)

ご逝去を悼む



平成三十一年三月十一日、つくば市立谷田部小学校長、沼尻浩先生がご逝去されました。

沼尻先生は、茨城県教育研究会国語研究部と社会科研究部のつくば市部長を歴任されました。また、つくば市学校長会幹事も務められ、本県教育の推進に多大な貢献をされました。ここに哀悼の意を表するとともに、謹んで沼尻先生のご冥福をお祈りいたします。



令和元年度 (一財)茨城県教育センター (教育プラザいばらき内) 職員

- 理事長 砂川 洋一
 - 副理事長 東小川昌夫
 - 事務局長 坪 哲男
 - 主幹(校長会担当) 木村 明弘
 - 主幹(研究会担当) 磯崎 則男
 - 主幹(教育センター担当) 石島久美子
 - 主幹(校長会・研究会担当) 佐々木有香
 - 主事(校長会担当) 阿久津 聡
- どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

一三二名の新会員の皆様をお迎えして、令和元年度の教育活動が順調にスタートしています。広報委員会ではお蔭さまで今年度の第一号を発行することができました。第3期中期ビジョンがスタートし、働き方改革を実現し、新しい時代の教育に向かう皆様の学校経営の一助となる誌面作りに務めて参ります。年度初めのご多用の中、原稿をお寄せいただきました皆様にご心より感謝申し上げます。